



2023年度 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役社長（兼）CEO	小川 啓之
代表取締役（兼）専務執行役員CFO	堀越 健
執行役員経営管理部長	菱沼 聖史

2024年4月26日（金）

目次

I.2023年度 決算の概要 <P3-P12>

- P4-P5 : 2023年度の概況・セグメント売上高と利益
- P6-P7 : <建設機械・車両> 2023年度の状況
- P8 : <リテールファイナンス> 2023年度の状況
- P9 : <産業機械他> 2023年度の売上高とセグメント利益
- P10 : 連結貸借対照表
- P11-12 : 中期経営計画の進捗状況

II.2024年度の業績見通し <P13-P30>

- P14-P15 : 2024年度の見通し（概要・セグメント売上高・利益）
- P16-P17 : <建設機械・車両> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P18 : <リテールファイナンス> 2024年度の見通し
- P19 : <産業機械他> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し
- P20-P25 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P26-P28 : <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移・売上高の見通し
- P29 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し
- P30 : 設備投資・減価償却費・研究開発費・固定費の見通し

参考資料 <P31-P45>

- P32-P34 : 2023年度 第4四半期（1-3月）の概況
- P35-P39 : 四半期毎の状況
- P40-P41 : <建設機械・車両> 一般建機・鉱山機械の本体・部品・サービス等の売上高の見通し
- P42 : Komtrax 月平均稼働時間推移
- P43-P45 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I .2023年度 決算の概要

2023年度の概況

- ・売上高は前年比+9.1%増収の3兆8,651億円。
- ・営業利益は前年比+23.7%増益の6,072億円、売上高営業利益率は+1.9ポイント上昇し15.7%。
- ・純利益は前年比+20.5%増益の3,934億円。

金額単位：億円	2022年度 ¥134.8/USD ¥140.3/EUR ¥92.5/AUD	2023年度 ¥144.3/USD ¥156.0/EUR ¥94.7/AUD	前年比	
			増減	増減率
売上高	35,435	38,651	+3,216	+9.1%
セグメント利益	4,935	6,057	+1,122	+22.7%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 28	15	+43	-
営業利益	4,907	6,072	+1,165	+23.7%
売上高営業利益率	13.8%	15.7%	+1.9ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 143	▲ 315	▲ 173	-
税引前当期純利益	4,764	5,757	+992	+20.8%
当社株主に帰属する当期純利益	3,264	3,934	+670	+20.5%
ROE	13.7%	14.1%	+0.4ポイント	
ネットD/Eレシオ	0.30	0.26	▲0.04ポイント	
1株当たり配当金（円）	139円	167円	+28円	
連結配当性向	40.3%	40.1%		

2023年度の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年比+9.7%増収の3兆6,152億円。
セグメント利益は、前年比+29.4%増益の5,740億円。セグメント利益率は+2.4ポイント上昇し15.9%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+20.9%増収の1,035億円。セグメント利益は前年比▲11.1%減益の242億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年比+2.5%増収の1,956億円。セグメント利益は前年比▲54.5%減益の103億円。

□ : 利益率

() : 外部顧客向け売上高

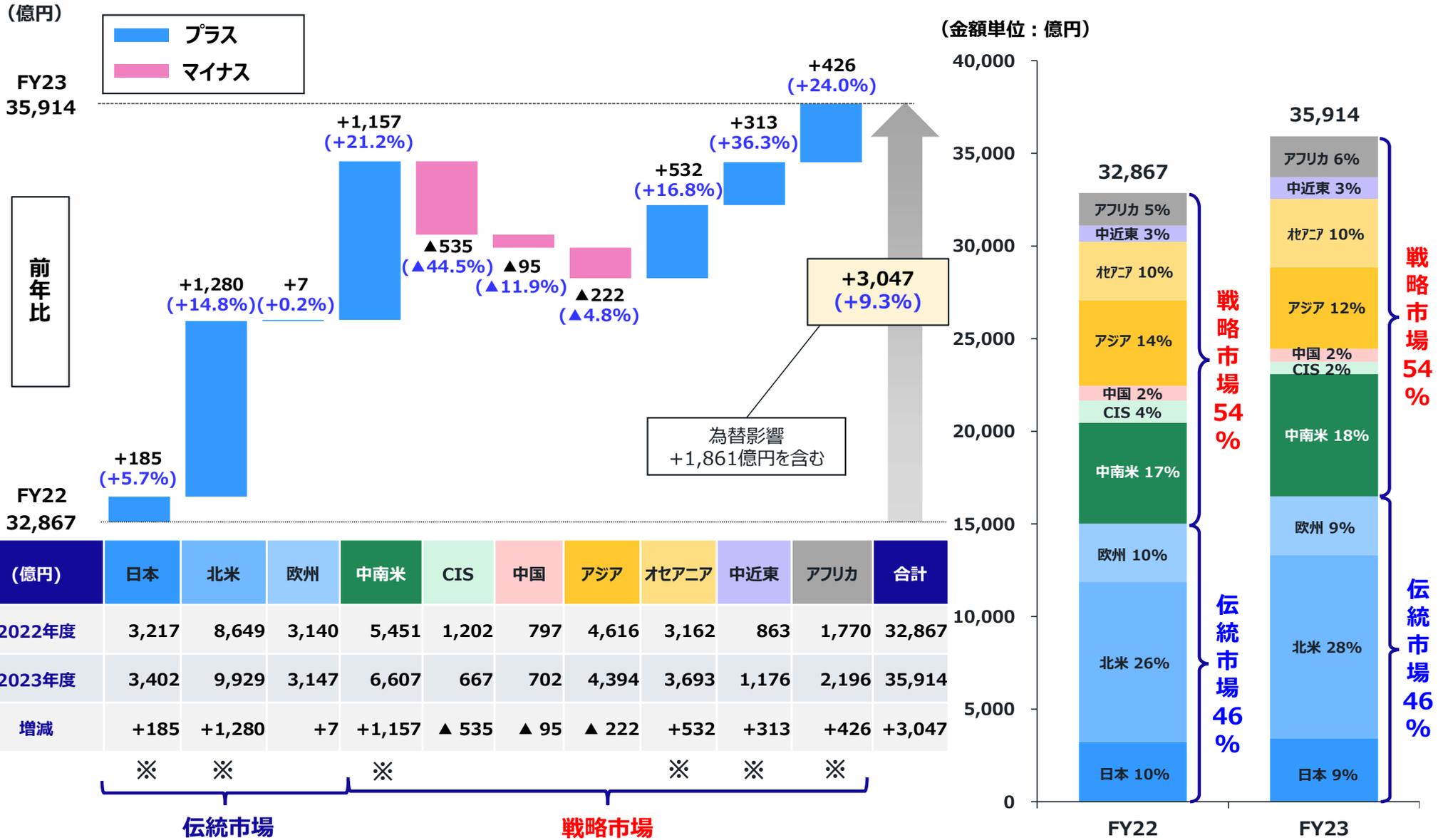
金額単位：億円	2022年度		2023年度		前年比		
					増減	増減率	
売上高		35,435		38,651		+3,216	+9.1%
建設機械・車両	(32,867)	32,966	(35,914)	36,152	(+3,047)	+3,186	(+9.3%) +9.7%
リテールファイナンス	(678)	856	(809)	1,035	(+131)	+179	(+19.3%) +20.9%
産業機械他	(1,889)	1,909	(1,928)	1,956	(+39)	+47	(+2.1%) +2.5%
消去		▲ 297		▲ 492		▲ 196	-
セグメント利益	□ 13.9%	4,935	□ 15.7%	6,057	□ +1.8ポイント	+1,122	+22.7%
建設機械・車両	□ 13.5%	4,436	□ 15.9%	5,740	□ +2.4ポイント	+1,304	+29.4%
リテールファイナンス	□ 31.8%	273	□ 23.4%	242	□ ▲8.4ポイント	▲ 30	▲11.1%
産業機械他	□ 11.8%	226	□ 5.3%	103	□ ▲6.5ポイント	▲ 123	▲54.5%
消去または全社		1		▲ 28		▲ 29	-

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- リテールファイナンス
金利上昇や為替のプラス影響により増収、前年に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより減益。
- 産業機械他
自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、大型プレスの販売増により増収。
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したことなどにより減益。

<建設機械・車両> 2023年度の地域別売上高 (外部顧客向け)

- ・外部顧客向け売上高は、前年比+9.3%増収の3兆5,914億円。
- ・北米、中南米、オセアニアなどで増加。CIS、アジアなどで減少。



<建設機械・車両> 2023年度の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、為替および販売価格のプラス影響等により、前年比+3,186億円の増収。
- ・セグメント利益は、物量減、原価・固定費の増加を為替および販売価格のプラス影響で吸収し、前年比+1,304億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年比+2.4ポイント上昇し15.9%。

売上高 2022年度 vs. 2023年度



¥134.8/USD
¥140.3/EUR
¥92.5/AUD

■ プラス要因
■ マイナス要因

¥144.3/USD
¥156.0/EUR
¥94.7/AUD

セグメント利益 2022年度 vs. 2023年度



13.5%

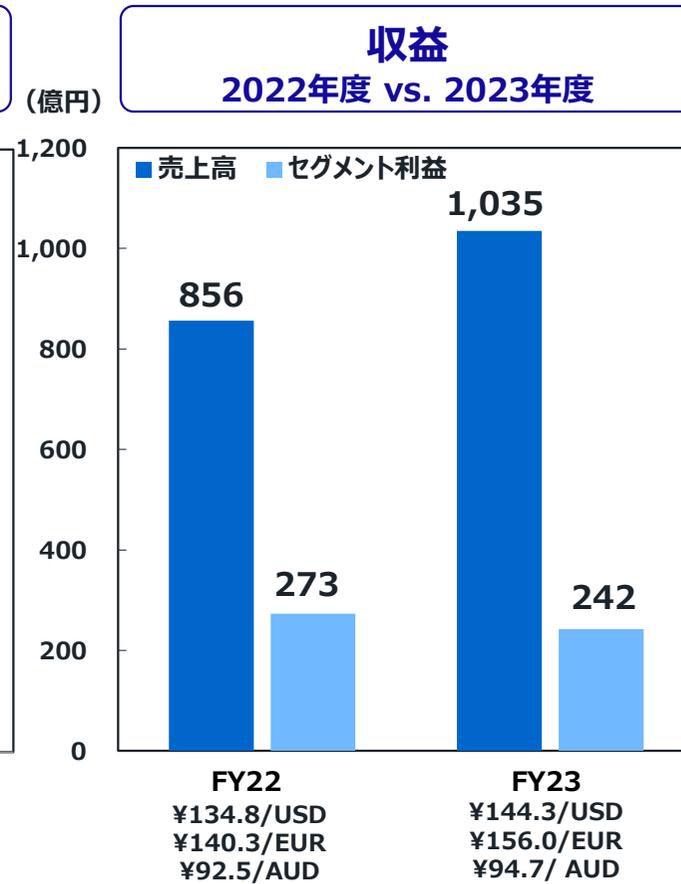
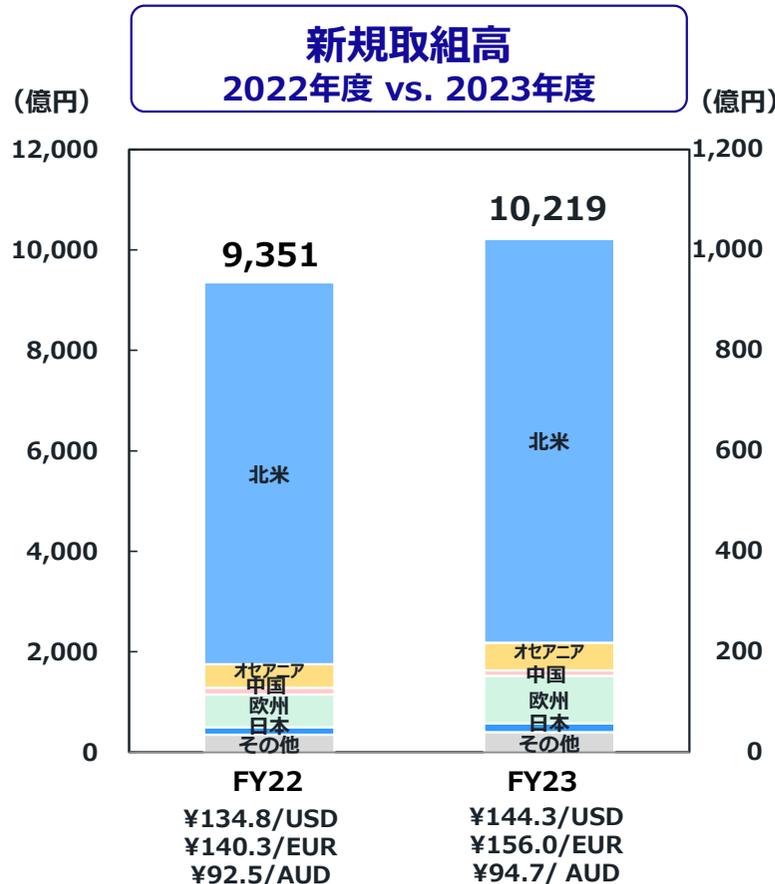
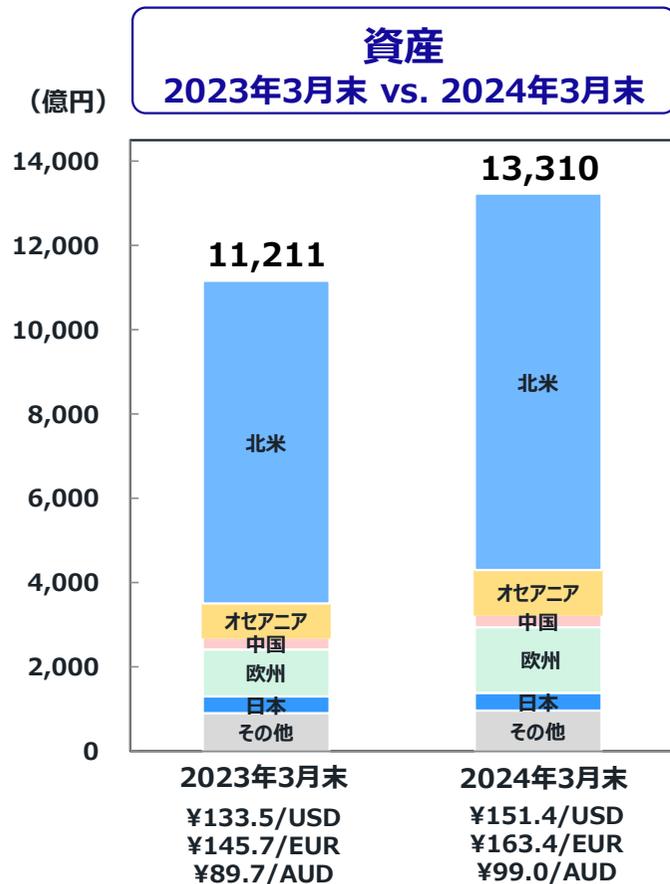
■ プラス要因
■ マイナス要因

売上高セグメント利益率

15.9%

<リテールファイナンス> 2023年度の状況

- ・ 資産は、新規取組高と為替の影響により、前年度末比+2,099億円の増加。
- ・ 新規取組高は、主に為替の影響により、前年比+868億円の増加。
- ・ 売上高は、金利上昇や為替のプラス影響により、前年比+179億円の増収。
- ・ セグメント利益は、前年に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより、前年比▲30億円の減益。



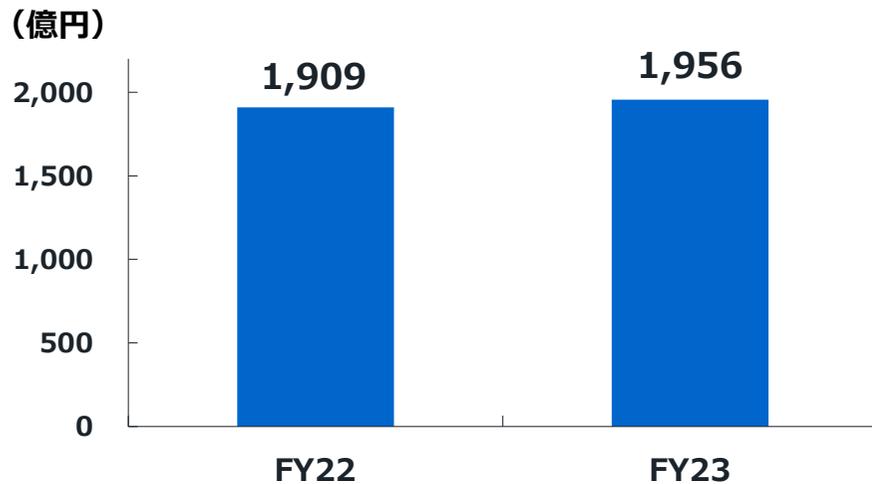
金額単位：億円	2023年3月末	2024年3月末	前年度末比
借入金	8,569	10,358	+1,789
ネットベースの借入金	8,453	10,160	+1,707
ネットD/Eレシオ	3.77	4.24	+0.47ポイント

	2022年度	2023年度	前年比
ROA	2.6%	2.0%	▲0.6ポイント

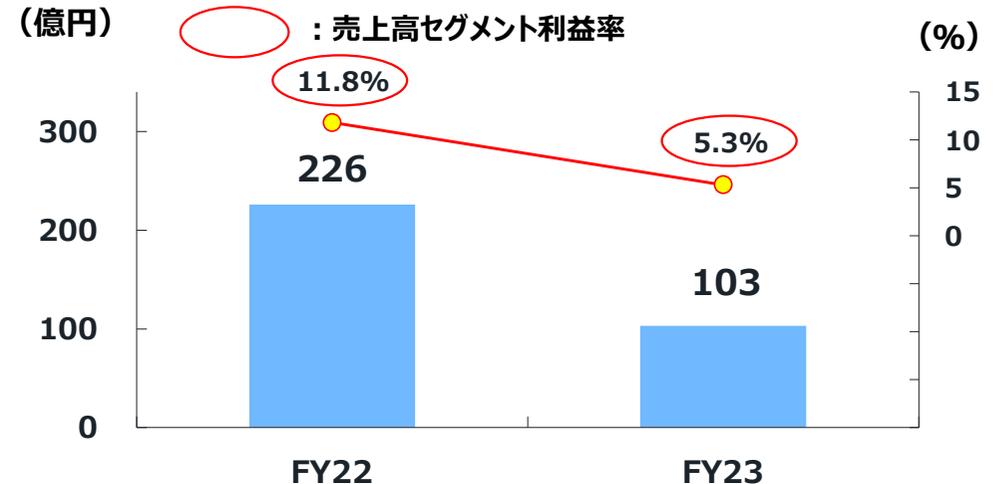
<産業機械他> 2023年度の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年比+2.5%増収の1,956億円、セグメント利益は、▲54.5%減益の103億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、大型プレスの販売増により増収。
- ・半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したこと等で減益。
- ・売上高セグメント利益率は、5.3%。

売上高
2022年度 vs. 2023年度



セグメント利益
2022年度 vs. 2023年度



売上高の内訳

(億円)	2022年度	2023年度	前年比	
			増減	増減率
コマツ産機	426	500	+74	+17.3%
コマツNTC	428	419	▲9	▲2.1%
ギガフォトン	585	556	▲29	▲5.0%
その他	470	481	+11	+2.4%
合計	1,909	1,956	+47	+2.5%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比+7,608億円増加の5兆6,367億円。主に為替と運転資本の影響により増加。
- ・棚卸資産は、円安の影響に加え、鉱山機械への需要増の対応などにより増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比+1.7ポイント増加し53.8%。

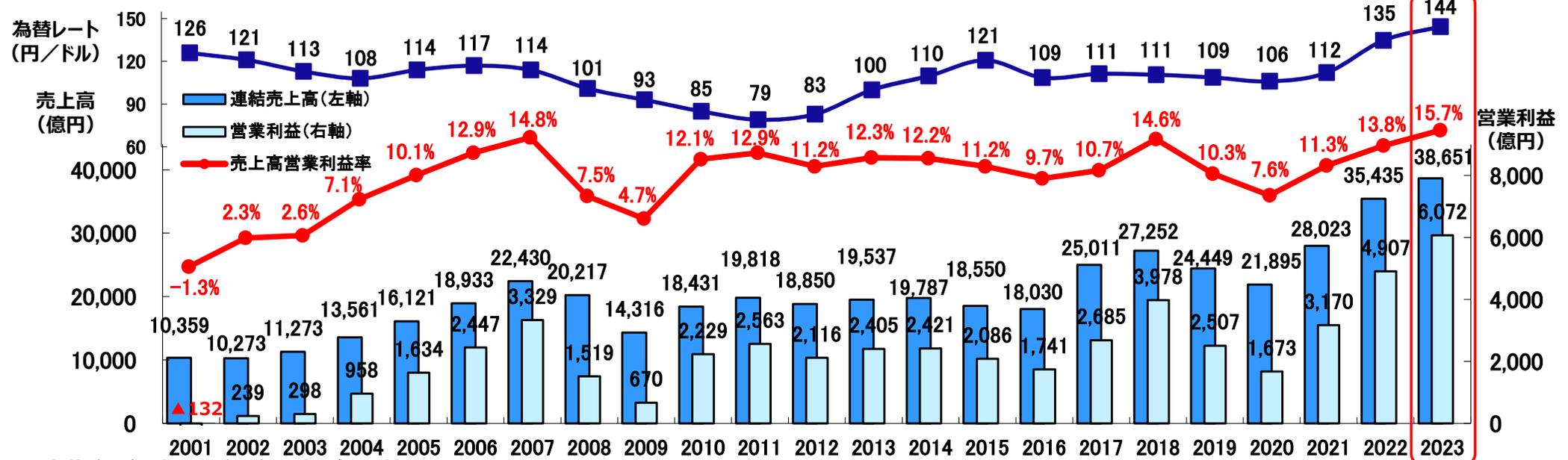
金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2023年3月末 ¥133.5/USD ¥145.7/EUR ¥89.7/AUD	2024年3月末 ¥151.4/USD ¥163.4/EUR ¥99.0/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,900	4,032	+1,132
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	16,816	19,518	+2,702
棚卸資産	12,272	14,387	+2,115
有形固定資産	8,364	9,081	+716
その他資産	8,406	9,349	+943
資産合計	48,758	56,367	+7,608
支払手形・買掛金	3,624	3,203	▲ 420
借入金・社債 [b]	10,538	11,994	+1,456
その他負債	7,818	9,185	+1,368
負債合計	21,979	24,382	+2,403
（株主資本比率）	（52.1%）	（53.8%）	（+1.7ポイント）
株主資本	25,396	30,336	+4,939
非支配持分	1,383	1,649	+266
負債及び純資産合計	48,758	56,367	+7,608
ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	○0.30 7,638	○0.26 7,962	+324
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.04	▲0.08	

中期経営計画の進捗状況：経営戦略の進捗状況と2024年度以降の課題

3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる成長の加速	2023年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートコンストラクション®導入現場の拡大 ・無人ダンプトラック運行システム（AHS）の市場導入台数：累計727台 ・大型ICTブルドーザー遠隔操作の商用稼働を開始 ・電動化建機4機種を市場導入 ・米国バッテリーメーカー American Battery Solutions社を買収 ・水素燃料電池を搭載した中型油圧ショベルのコンセプトマシンを開発、実証実験を開始 ・米国ゼネラルモーターズ社とダンプトラック向け水素燃料電池の共同開発契約を締結
	2024年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートコンストラクション®の海外展開の加速 ・鉱山用オープンテクノロジープラットフォームを活用したソリューションビジネスの推進 ・電動化・自動化・遠隔操作化の技術開発の強化 ・森林管理ソリューションビジネスの確立
2.稼ぐ力の最大化	2023年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした都市土木仕様の油圧ショベル（CEシリーズ）の拡販 ・メンテナンス契約付き延長保証の拡大などによるアフターマーケット事業の伸長 ・ハイブリッド油圧ショベルの再生コンポーネント事業を開始（日本） ・カザフスタン共和国での子会社設立（Komatsu Central Asia LLP） ・豪 iVolve社（建設・鉱山機械の運行管理システムプロバイダー）を買収
	2024年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略地域における商品企画・開発体制の強化 ・林業機械事業、坑内掘りハードロック事業の拡大 ・アフターマーケット事業のさらなる拡大 ・次世代Komtraxを活用したビジネスモデルの確立とグローバル展開 ・リマン・リビルド事業の拡大
3.レジリエントな企業体質の構築	2023年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスソーシング、マルチソーシングの展開 ・ERMの導入によるリスクマネジメント体制の強化 ・F1チーム「ウィリアムズ・レーシング」とのスポンサー契約を締結 ・グローバルエンゲージメントサーベイの実施、ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ・AIおよびDX人材育成の推進
	2024年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスソーシング、マルチソーシングの一層の推進によるサプライチェーンの強化 ・構造改革、DX活用による業務改革の推進 ・リスクマネジメントの継続的なレベルアップ ・グローバルなブランド戦略の展開 ・タレントマネジメントの推進

中期経営計画の進捗状況：年間業績推移および中期経営計画の経営目標達成状況

・販売価格の改善、為替のプラス影響と成長戦略と構造改革の成果もあり、売上高、営業利益は過去最高。経営目標は概ね達成。



＜中期経営計画の経営目標進捗状況＞

	経営目標	年度	2022年度	2023年度
		指標	実績	実績
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	+26.4%	+9.1%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	13.8%	15.7%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	13.7%	14.1%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.30	0.26
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 連結配当性向を40%以上とする。 	連結配当性向	40.3%	40.1%
		ESG	環境負荷低減	製品使用によるCO2削減
生産によるCO2削減	▲43%		※ ▲50%	
再生可能エネルギー使用比率	17%		※ 25%	
外部評価	DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック）	外部評価	DJSI選定	DJSI選定
	CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）		CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A	CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A
リテールファイナンス事業	・ ROA 1.5% - 2.0%	ROA	2.6%	2.0%
	・ ネットD/Eレシオ 5倍以下	ネットD/Eレシオ	3.77	4.24

Ⅱ. 2024年度の業績見通し

2024年度の業績見通し

- ・売上高は前年並みの3兆8,610億円。
- ・営業利益は前年比▲8.3%減益の5,570億円、売上高営業利益率は▲1.3ポイント低下し14.4%。
- ・純利益は前年比▲11.8%減益の3,470億円。

金額単位：億円	2023年度 ¥144.3/USD ¥156.0/EUR ¥94.7/AUD	2024年度 (見通し) ¥140.0/USD ¥149.0/EUR ¥90.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
売上高	38,651	38,610	▲ 41	▲0.1%
セグメント利益	6,057	5,850	▲ 207	▲3.4%
その他の営業収益(▲費用)	15	▲ 280	▲ 295	-
営業利益	6,072	5,570	▲ 502	▲8.3%
売上高営業利益率	15.7%	14.4%	▲1.3ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 315	▲ 390	▲ 75	-
税引前当期純利益	5,757	5,180	▲ 577	▲10.0%
当社株主に帰属する当期純利益	3,934	3,470	▲ 464	▲11.8%
ROE	14.1%	11.7%	▲2.4ポイント	
1株当たり配当金(円)	167円	167円	±0円	
連結配当性向	40.1%	45.5%		

2024年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年比▲1.7%減収の3兆5,530億円。
セグメント利益は、前年比▲6.3%減益の5,380億円。セグメント利益率は▲0.8ポイント低下し15.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+2.4%増収の1,060億円。セグメント利益は前年比▲9.3%減益の220億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年比+17.1%増収の2,290億円。セグメント利益は+172.4%増収の280億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

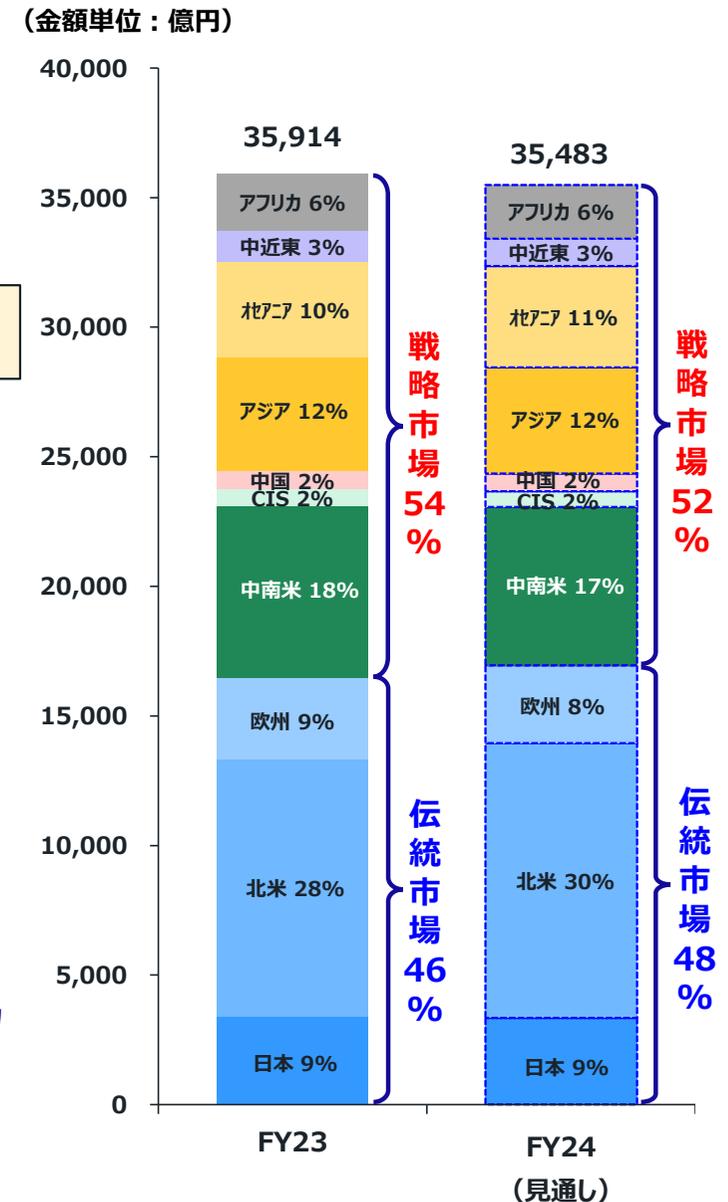
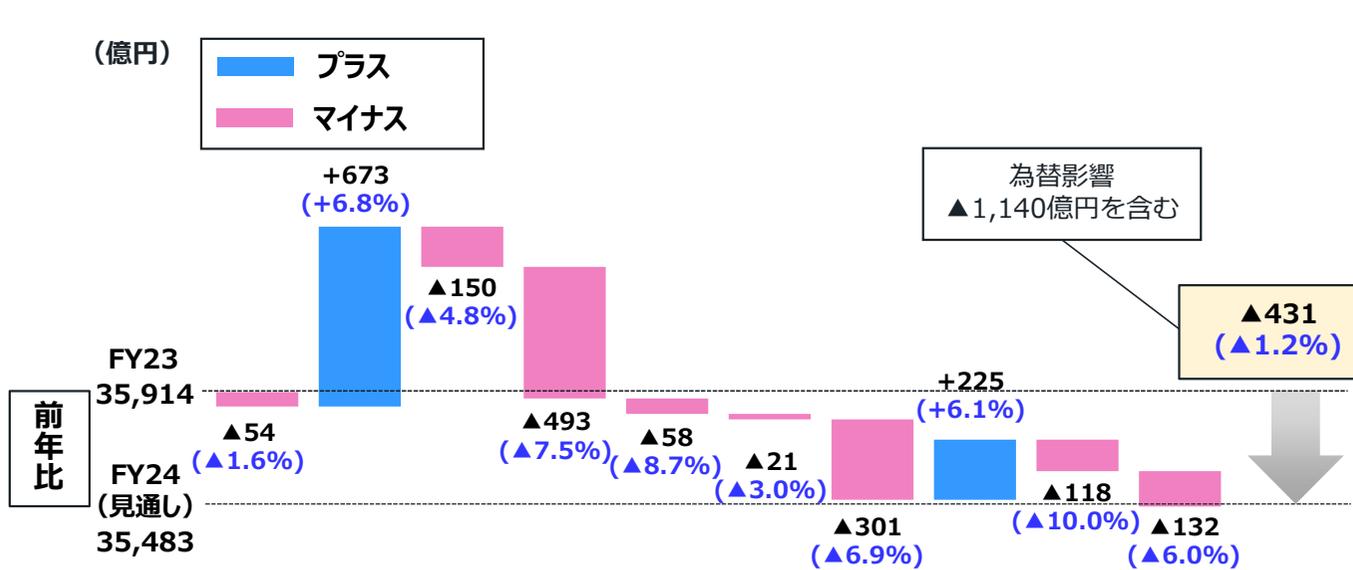
金額単位：億円	2023年度		2024年度 (見通し)		前年比		
					増減	増減率	
売上高		38,651		38,610		▲ 41	▲0.1%
建設機械・車両	(35,914)	36,152	(35,483)	35,530	(▲431)	▲ 622	(▲1.2%) ▲1.7%
リテールファイナンス	(809)	1,035	(858)	1,060	(+49)	+25	(+6.0%) +2.4%
産業機械他	(1,928)	1,956	(2,269)	2,290	(+341)	+334	(+17.6%) +17.1%
消去		▲ 492		▲ 270		+222	-
セグメント利益	□ 15.7%	6,057	□ 15.2%	5,850	□ ▲0.5ポイント	▲ 207	▲3.4%
建設機械・車両	□ 15.9%	5,740	□ 15.1%	5,380	□ ▲0.8ポイント	▲ 360	▲6.3%
リテールファイナンス	□ 23.4%	242	□ 20.8%	220	□ ▲2.6ポイント	▲ 22	▲9.3%
産業機械他	□ 5.3%	103	□ 12.2%	280	□ +6.9ポイント	+177	+172.4%
消去または全社		▲ 28		▲ 30		▲ 2	-

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
需要減少による物量減を販売価格の改善で補うものの、為替差のマイナス影響により、減収。
物量減、原価や固定費の増、為替のマイナス影響を、販売価格の改善で一部吸収するものの、減益。
- リテールファイナンス
主に金利上昇により増収、リース終了後の中古車の再販益が減少することなどにより減益。
- 産業機械他
半導体産業向けでエキシマレーザーのメンテナンス売上が回復することで増収増益。

＜建設機械・車両＞2024年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・外部顧客向け売上高は、前年比▲1.2%減収の3兆5,483億円の見通し。
- ・北米、オセアニアで増加。中南米、アジアなどで減少。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2023年度	3,402	9,929	3,147	6,607	667	702	4,394	3,693	1,176	2,196	35,914
2024年度 (見通し)	3,348	10,602	2,997	6,114	609	681	4,092	3,919	1,058	2,064	35,483
増減	▲ 54	+673	▲ 150	▲ 493	▲ 58	▲ 21	▲ 301	+225	▲ 118	▲ 132	▲ 431

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

伝統市場

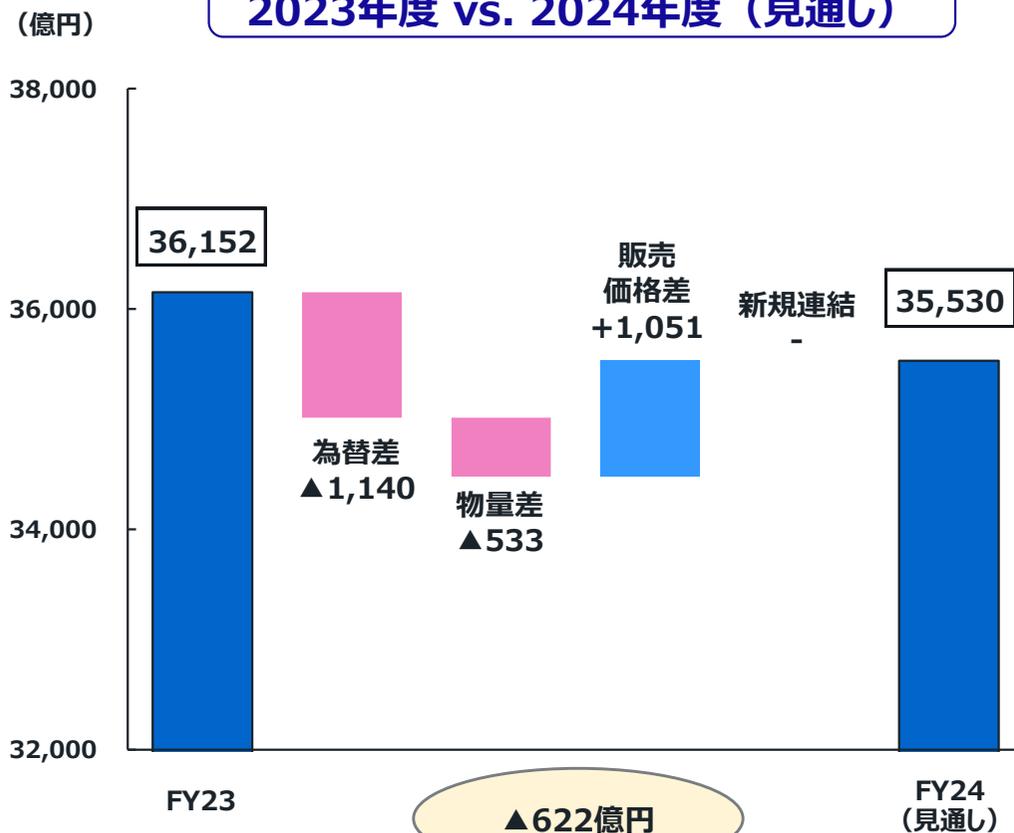
戦略市場

<建設機械・車両> 2024年度の売上高とセグメント利益の増減要因の見通し

- ・売上高は、販売価格の改善を物量減、為替のマイナス影響が上回り、前年比▲622億円の減収。
- ・セグメント利益は、物量減、コスト増、為替のマイナス影響を、販売価格の改善で一部吸収するも、前年比▲360億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は前年比▲0.8ポイント低下し15.1%。

売上高

2023年度 vs. 2024年度 (見通し)



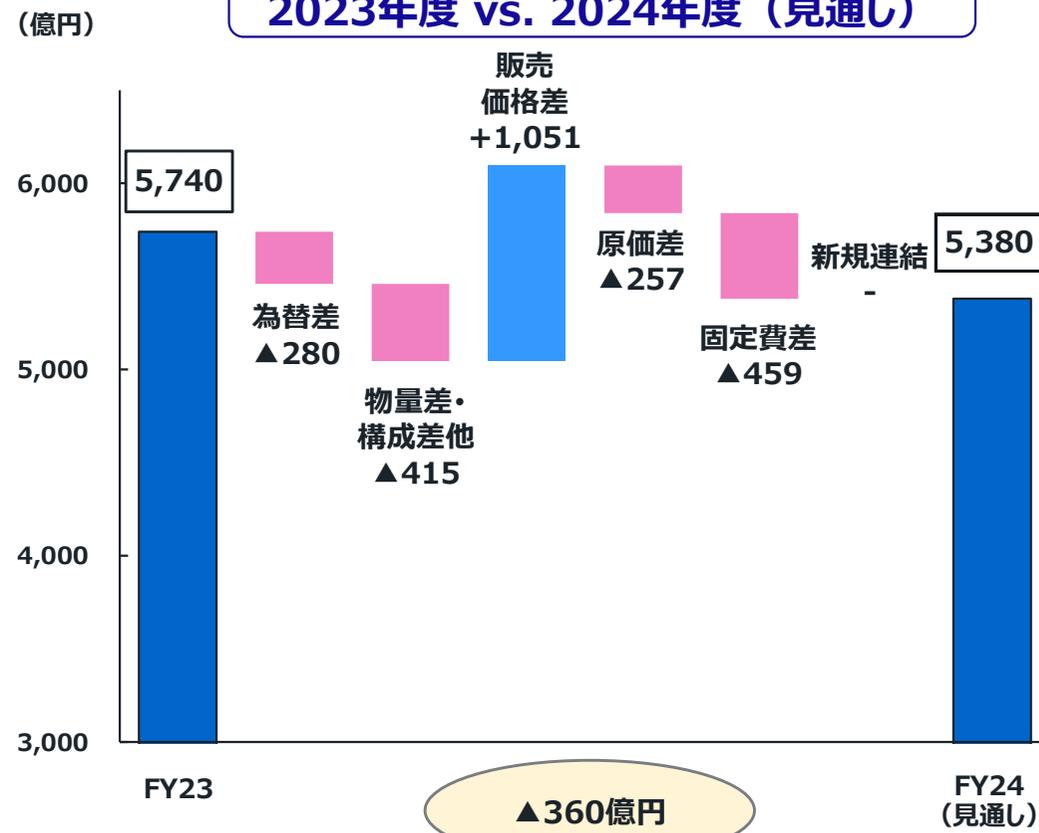
¥144.3/USD
¥156.0/EUR
¥94.7/AUD

■ プラス要因
■ マイナス要因

¥140.0/USD
¥149.0/EUR
¥90.0/AUD

セグメント利益

2023年度 vs. 2024年度 (見通し)



15.9%

■ プラス要因
■ マイナス要因

売上高セグメント利益率

15.1%

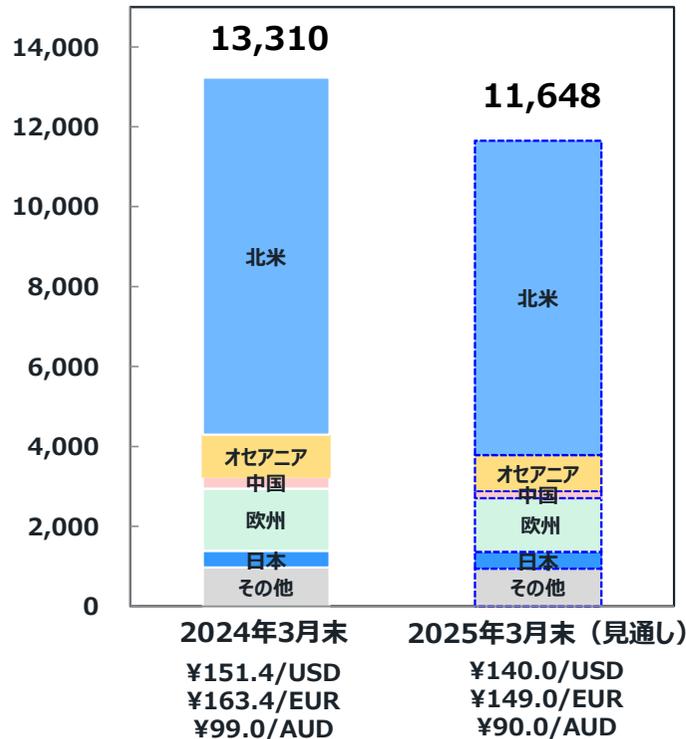
<リテールファイナンス> 2024年度の見通し

- ・資産は、為替の影響や新規取組高の減少により、前年度末比▲1,662億円の減少。
- ・新規取組高は、為替の影響や建設機械の販売減により、前年比▲956億円減少の見通し。
- ・売上高は、主に金利上昇の影響により、前年比+25億円増収の見通し。
- ・セグメント利益は、リース終了後の中古車の再販益が減少することなどにより、前年比▲22億円減益の見通し。

資産

2024年3月末 vs. 2025年3月末
(見通し)

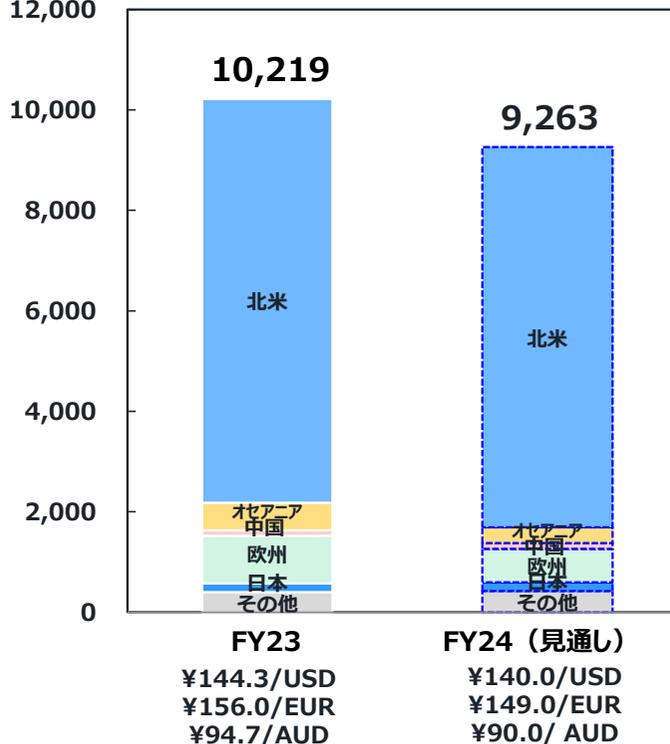
(億円)



新規取組高

2023年度 vs. 2024年度
(見通し)

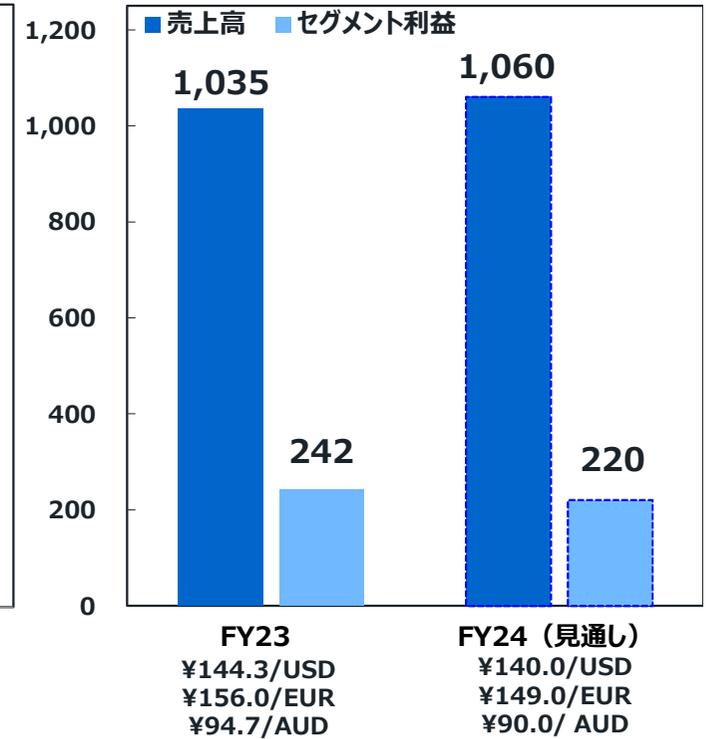
(億円)



収益

2023年度 vs. 2024年度
(見通し)

(億円)



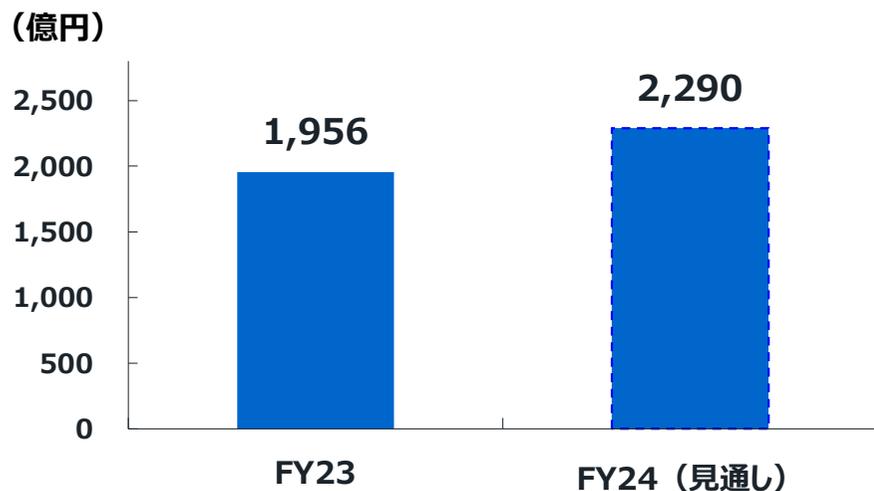
金額単位：億円	2024年3月末	2025年3月末 (見通し)	前年度末比
借入金	10,358	8,948	▲1,410
ネットベースの借入金	10,160	8,807	▲1,353
ネットD/Eレシオ	4.24	3.67	▲0.57ポイント

	2023年度	2024年度 (見通し)	前年比
ROA	2.0%	1.9%	▲0.1ポイント

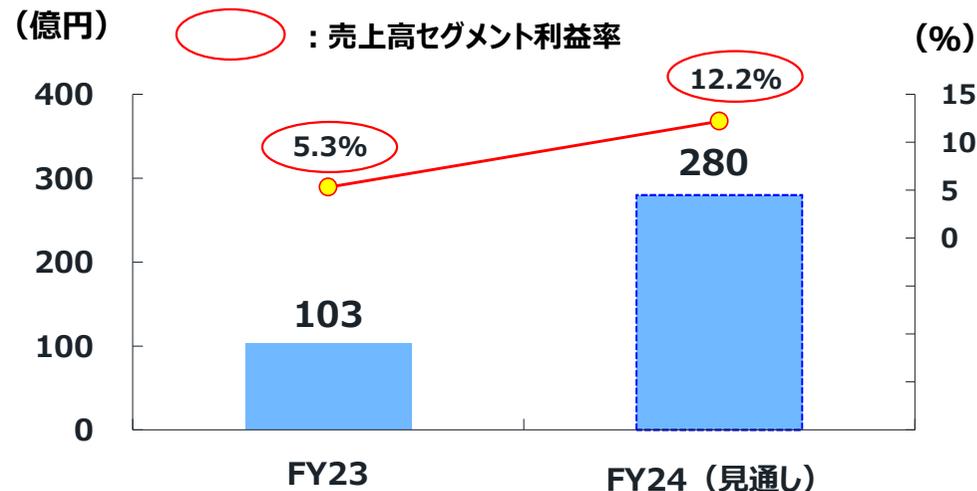
<産業機械他> 2024年度の売上高とセグメント利益の見通し

・売上高は前年比+17.1%増収の2,290億円、セグメント利益は前年比+172.4%増益の280億円となる見通し。

売上高
2023年度 vs. 2024年度 (見通し)



セグメント利益
2023年度 vs. 2024年度 (見通し)



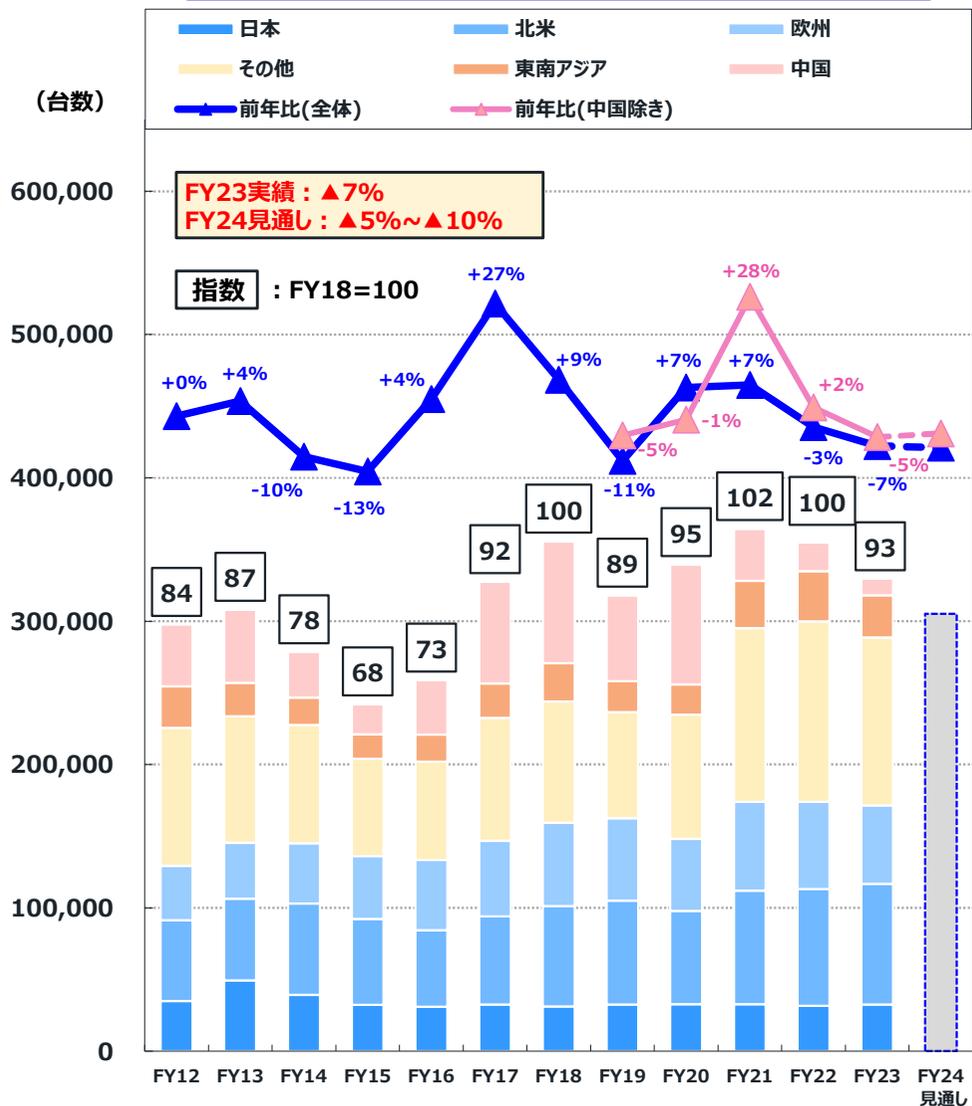
売上高の内訳

売上高の内訳 (億円)	2023年度	2024年度 (見通し)	前年比	
			増減	増減率
コマツ産機	500	556	+56	+11.2%
コマツNTC	419	449	+30	+7.1%
ギガフォトン	556	688	+132	+23.7%
その他	481	597	+116	+24.1%
合計	1,956	2,290	+334	+17.1%

<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

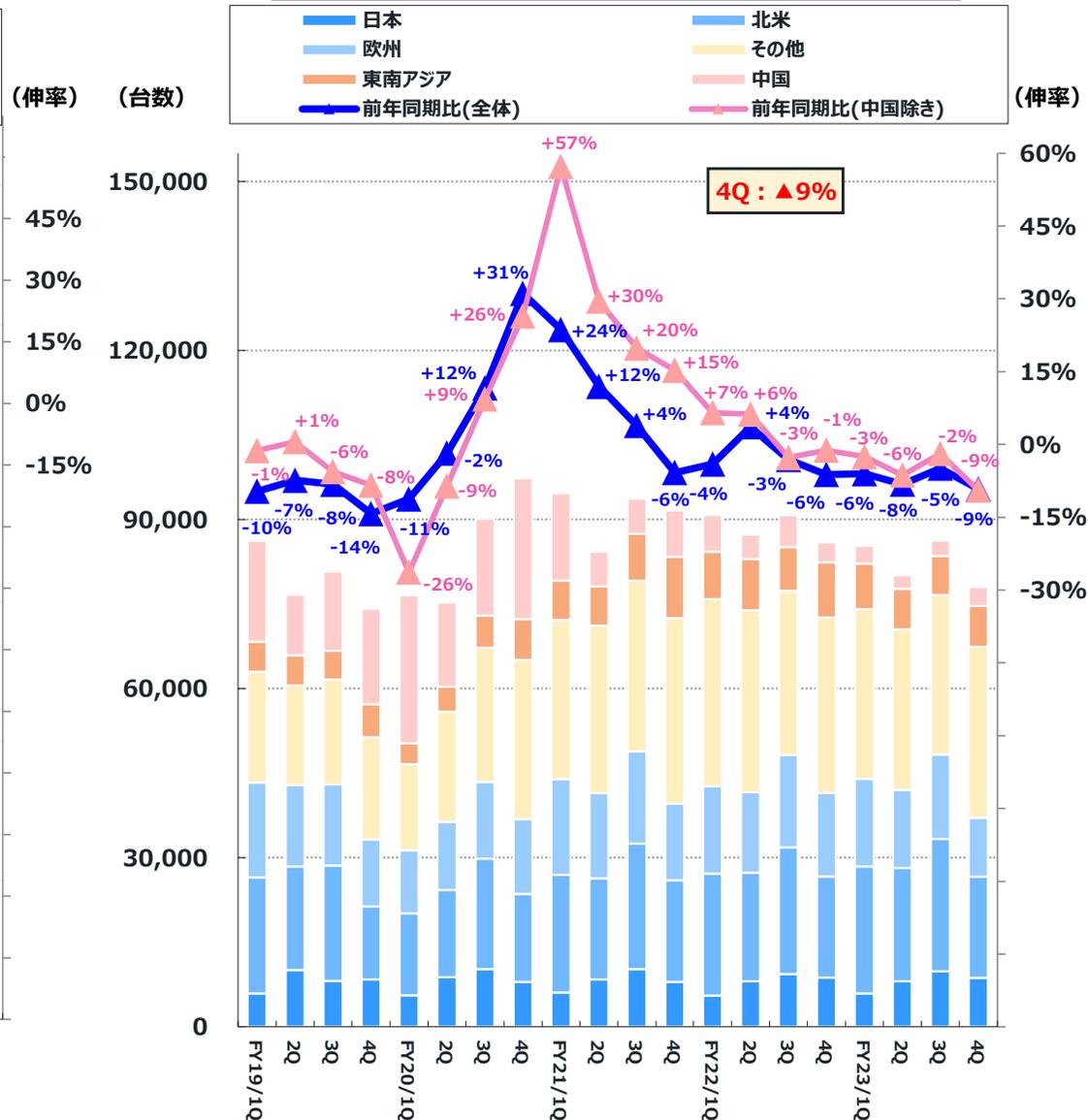
- ・2023年度の需要は、前年比▲7%の減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し。

主要7建機 年度別需要推移



【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

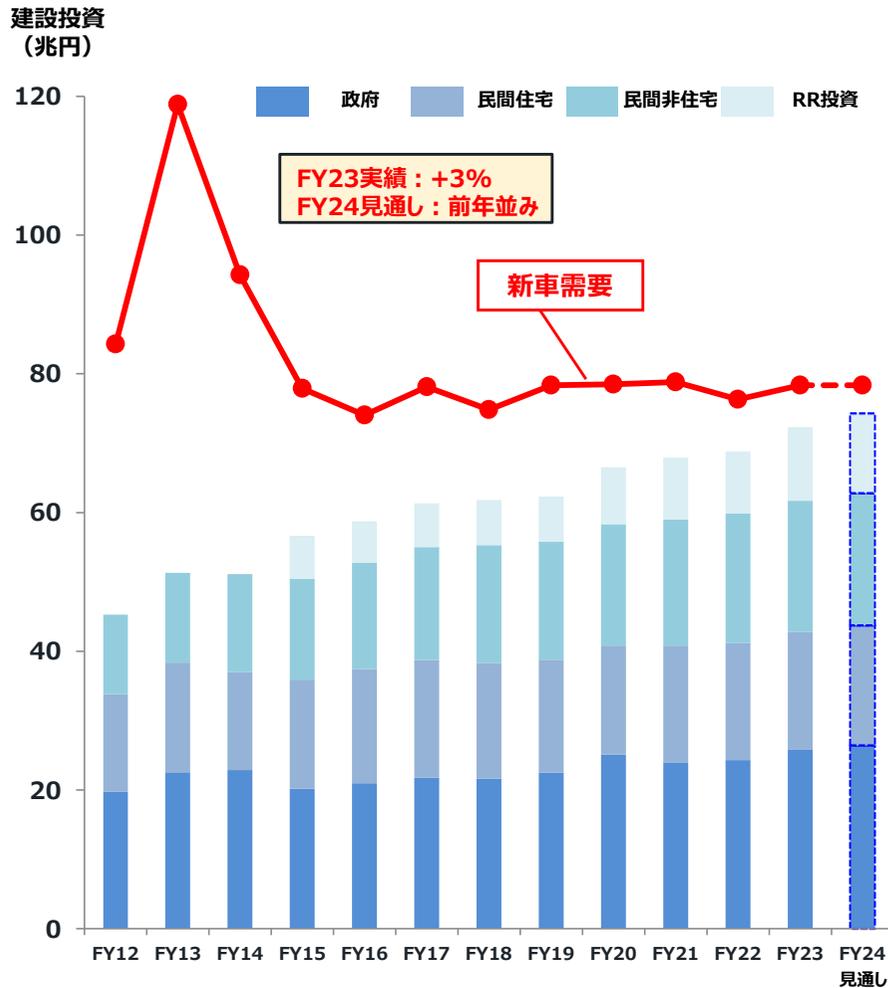
主要7建機 四半期別需要推移



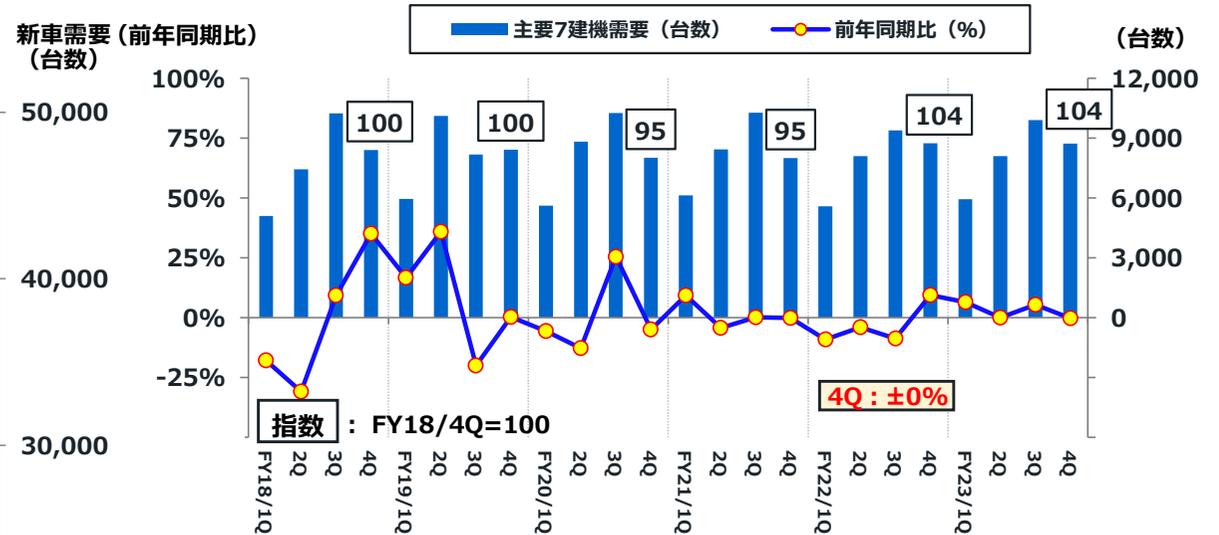
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2023年度の需要は、前年比+3%の増加。公共工事、民間工事向け共に堅調に推移。
- ・2024年度の需要は、前年並みの見通し。

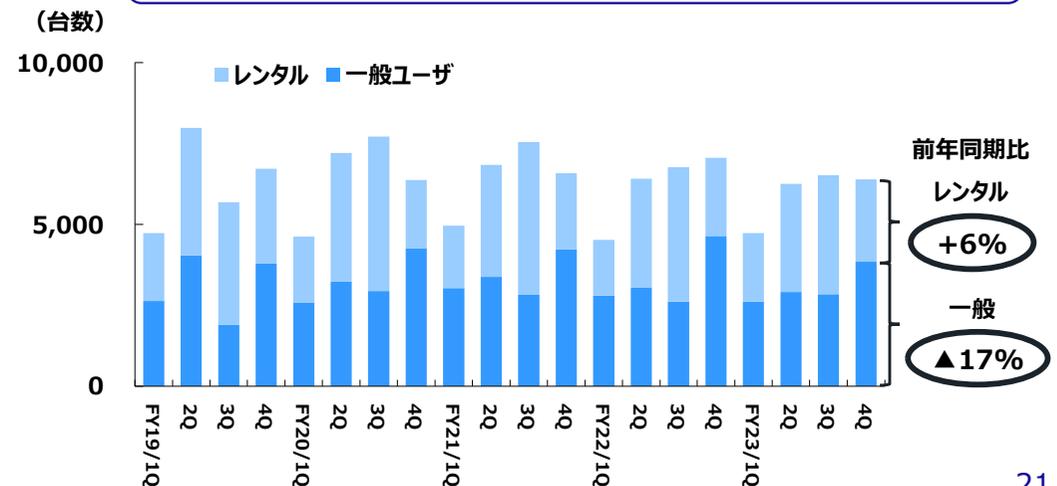
新車需要（主要7建機）と建設投資



主要7建機 四半期別需要推移



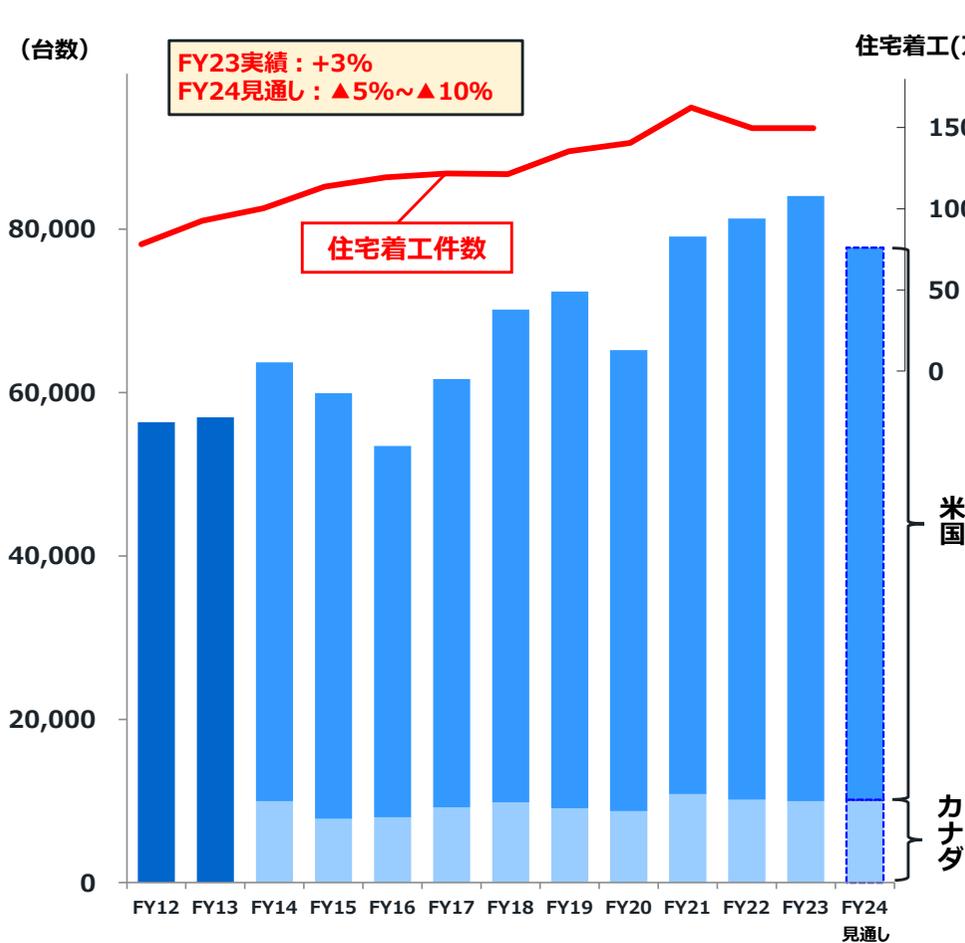
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



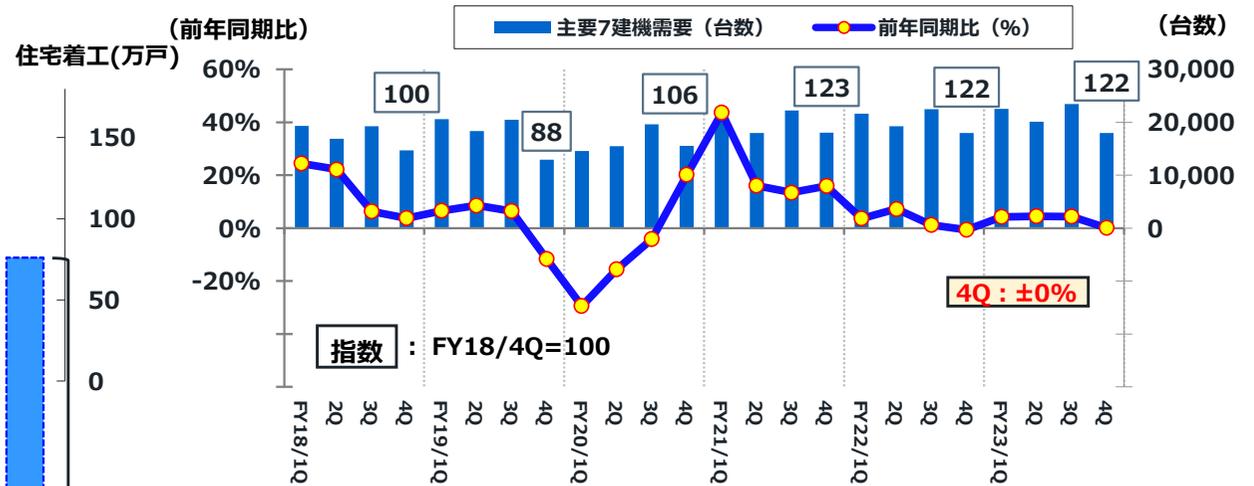
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2023年度の需要は、前年比+3%の増加。レンタル、インフラ、エネルギー関連向けに加え、住宅建設向けも堅調に推移。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5～▲10%の見通し。

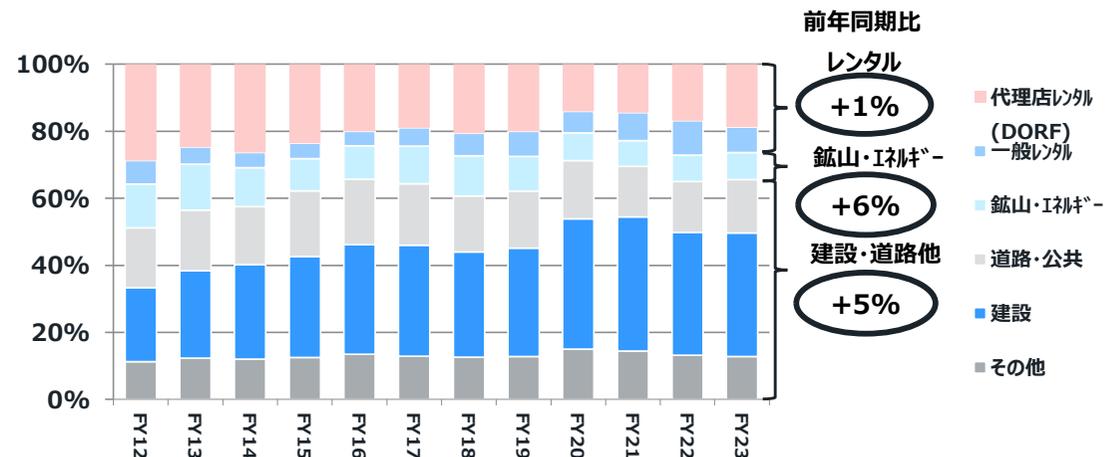
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移



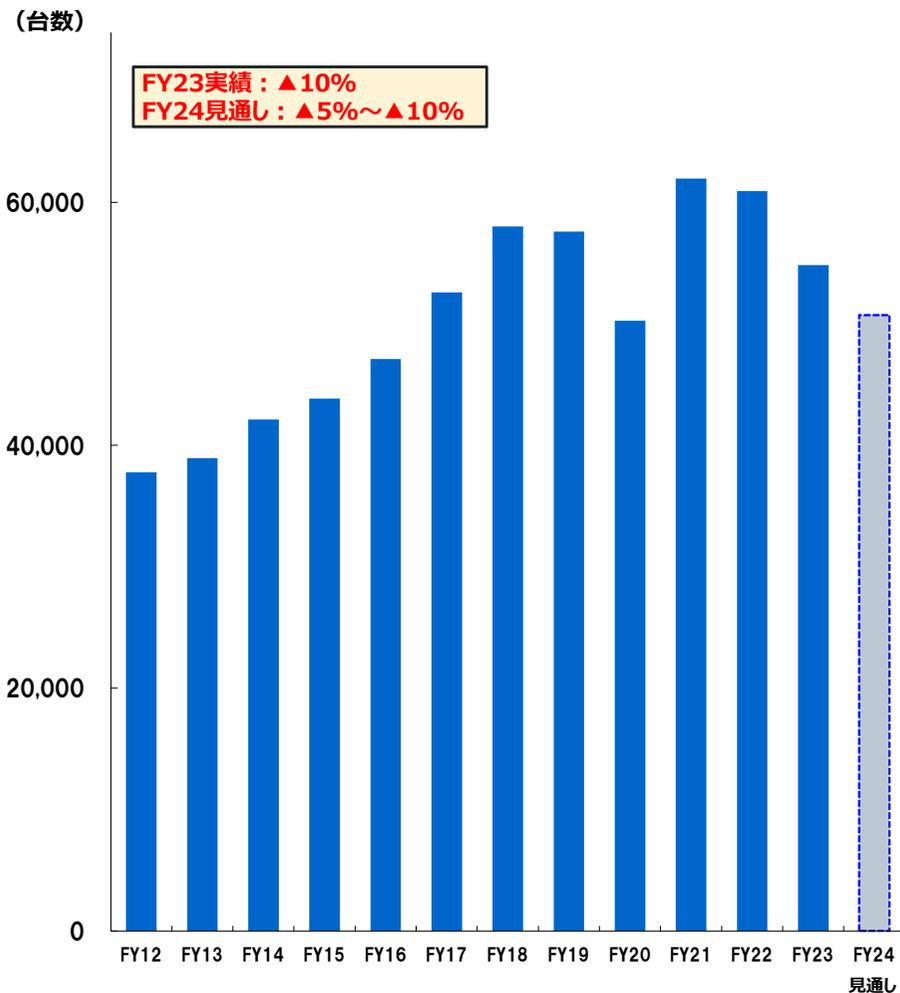
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



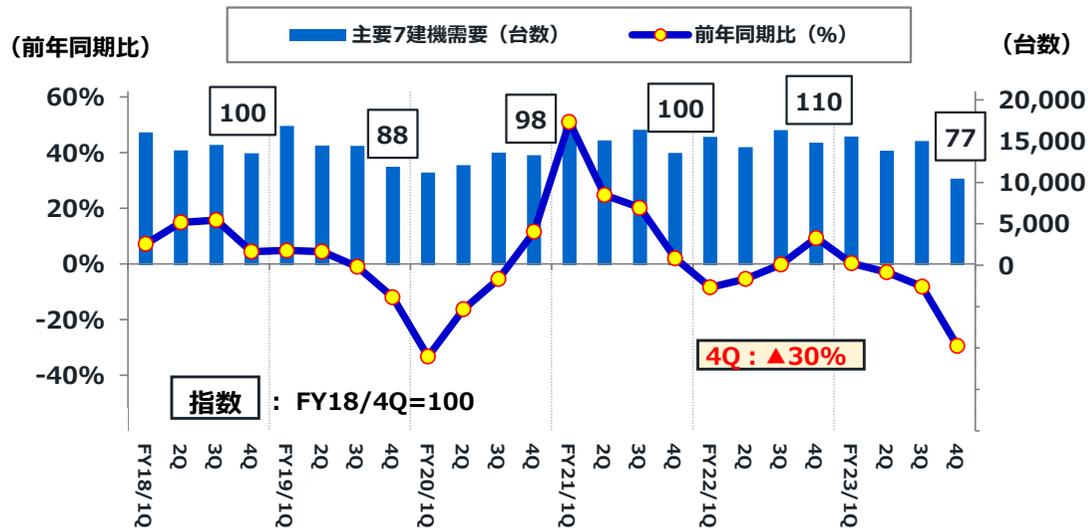
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

- ・2023年度の需要は、前年比▲10%の減少。金利やエネルギー価格の高止まりの影響で、主要市場であるイギリスやドイツ、イタリアなどを中心に一般建機の需要が減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し。

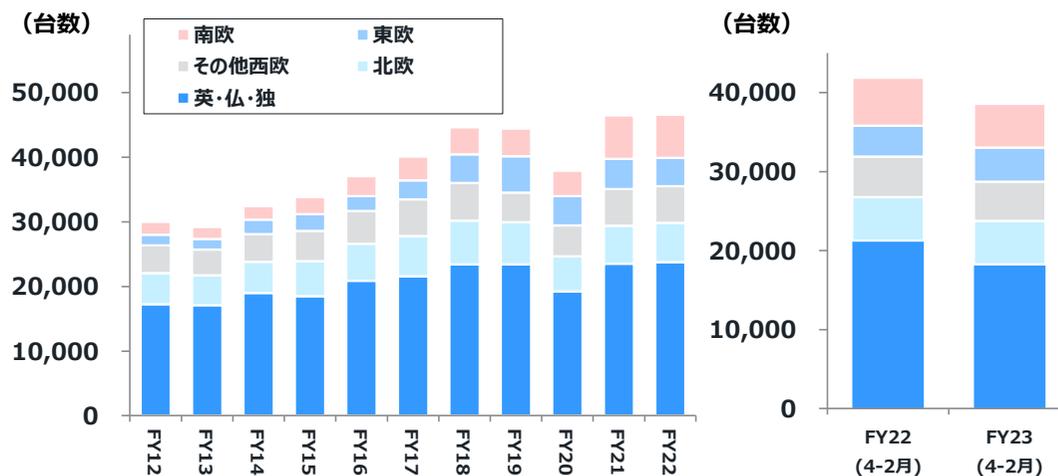
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



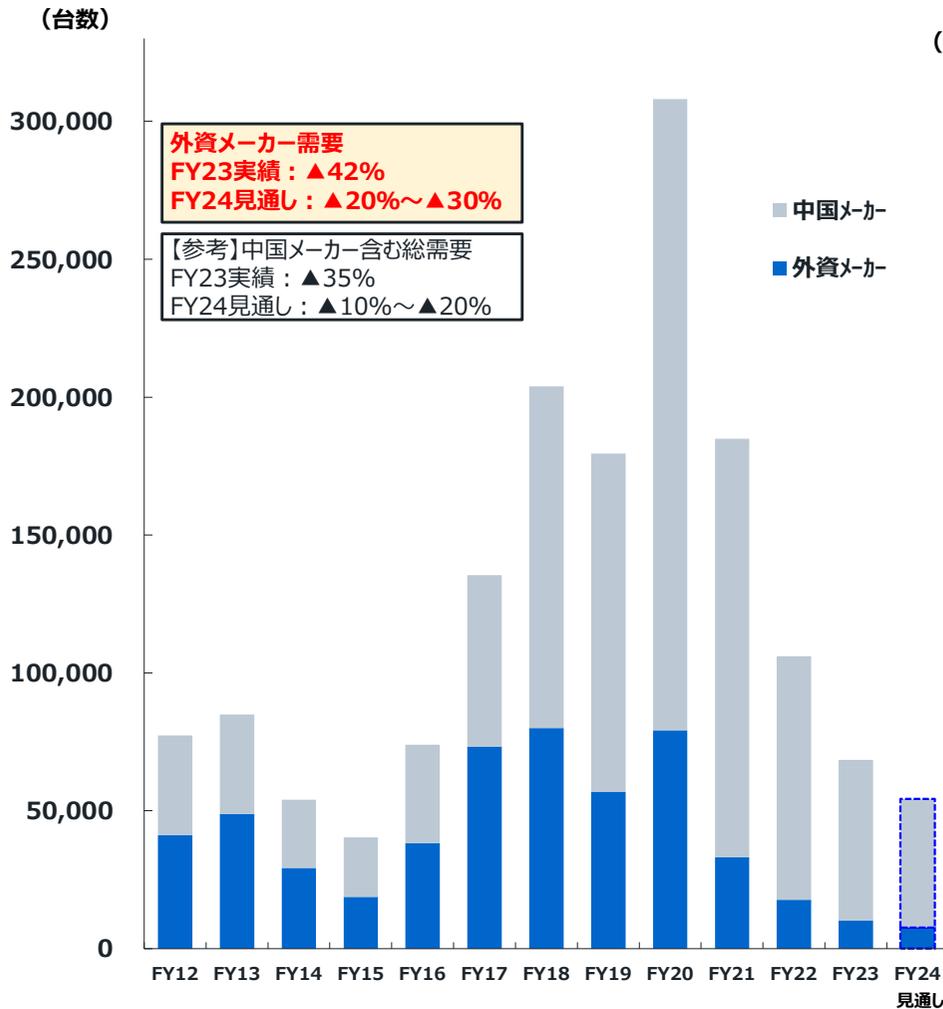
主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：④中国

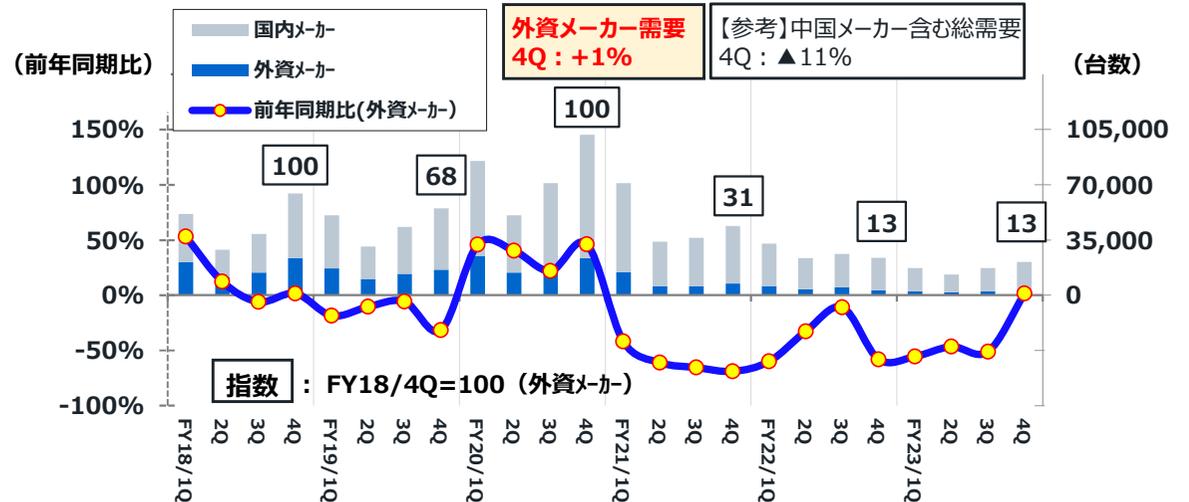
- ・2023年度の需要は、前年比▲42%の減少。不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞などにより需要が大幅に減少する状況が継続。
- ・2024年度の需要は、前年比▲20%～▲30%の見通し。

油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)

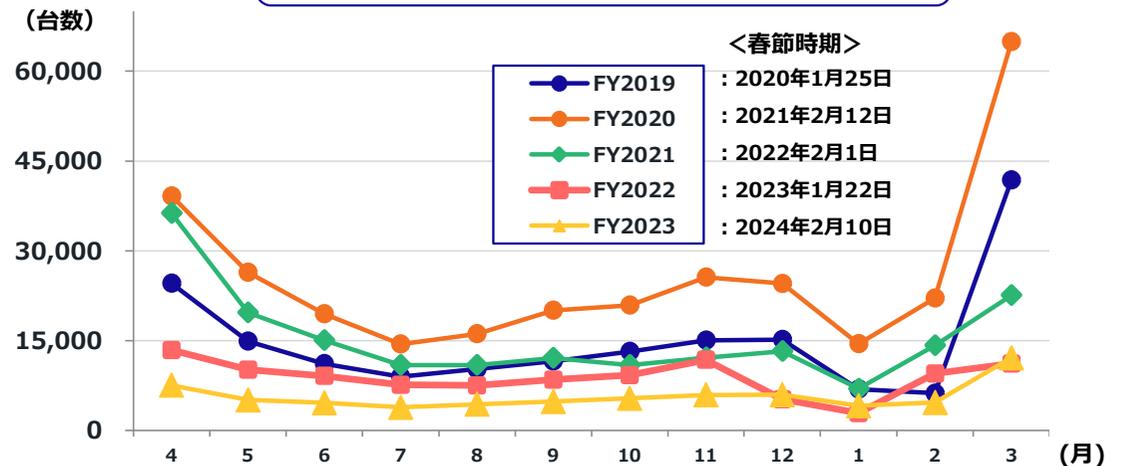


【出所】油圧ショベル需要：コマツの推定

油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



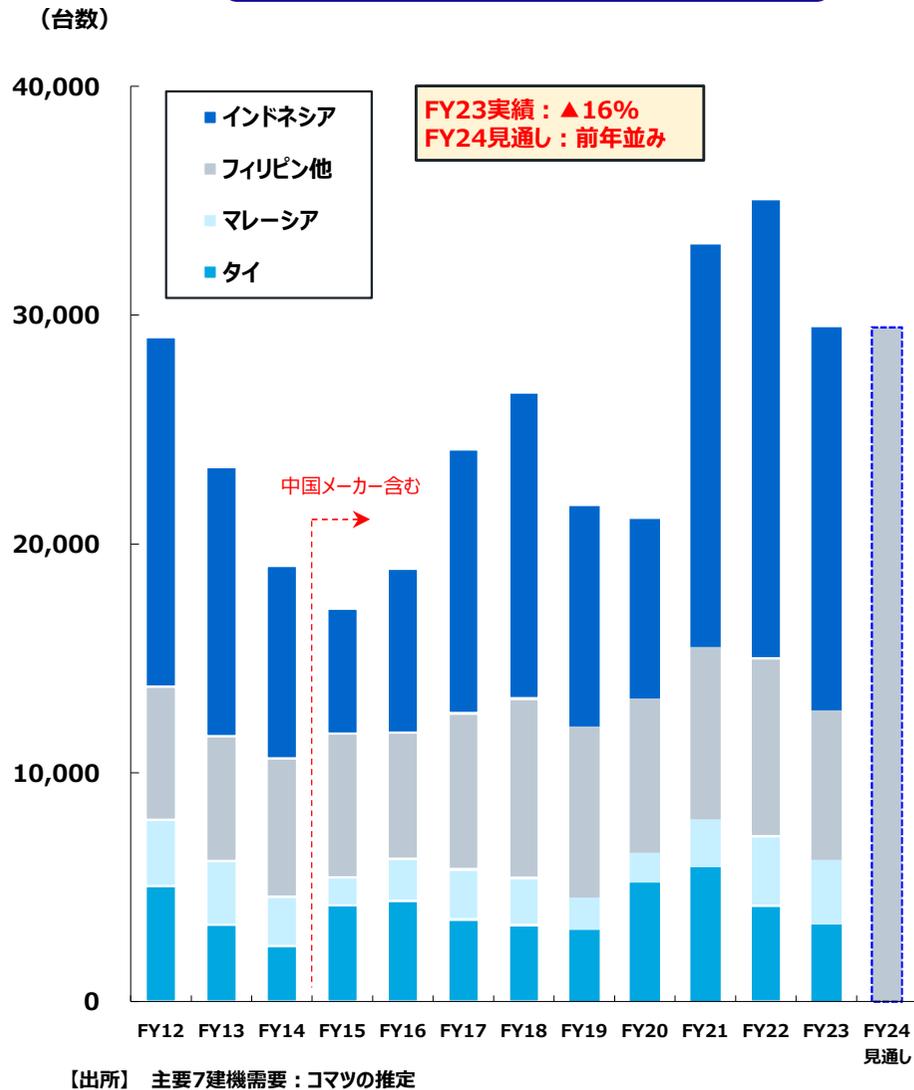
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



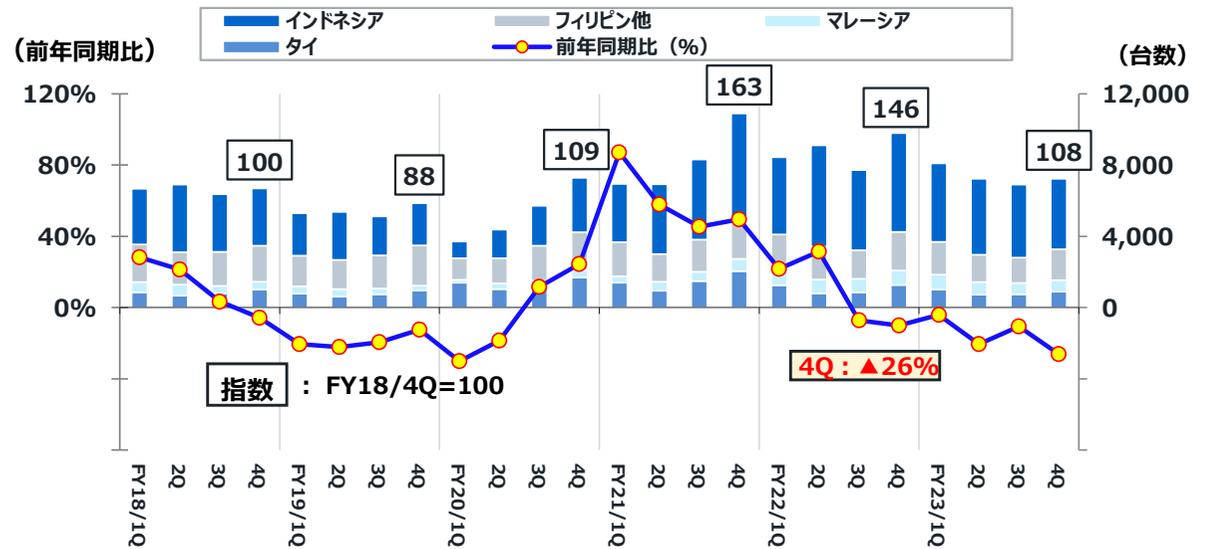
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

- ・2023年度の需要は、前年比▲16%の減少。インドネシアの鉱山機械は引き続き堅調に推移。一般建機ではインドネシア、タイ、ベトナムなどで公共事業予算執行の遅れや経済の先行き不透明感などにより需要が減少。
- ・2024年度の需要は、前年並みの見通し。

主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移

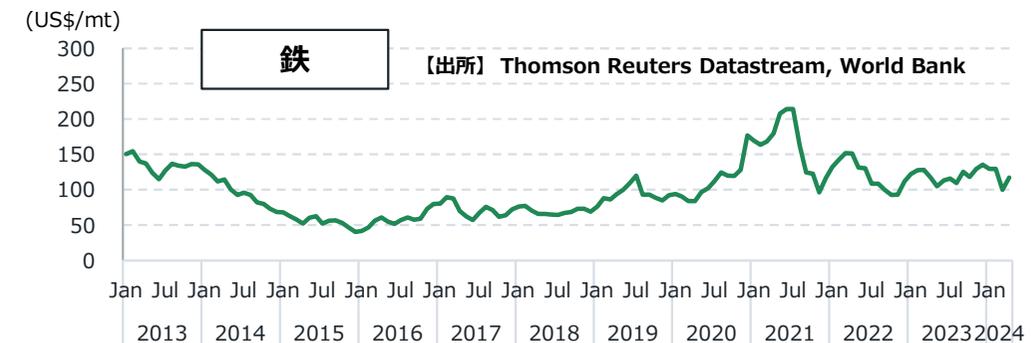
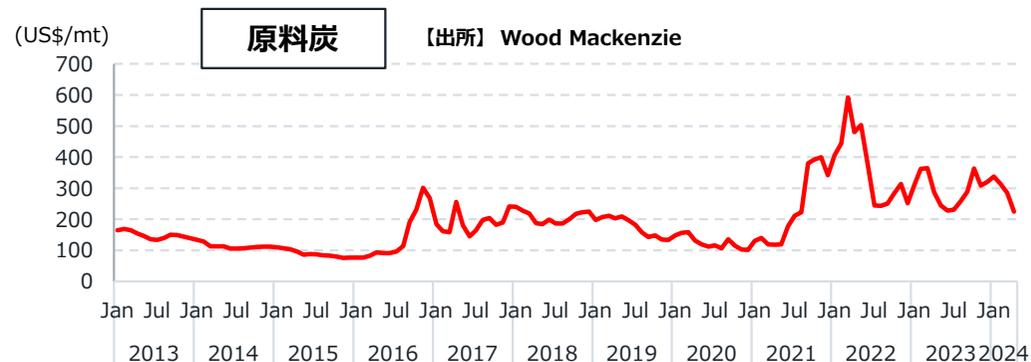
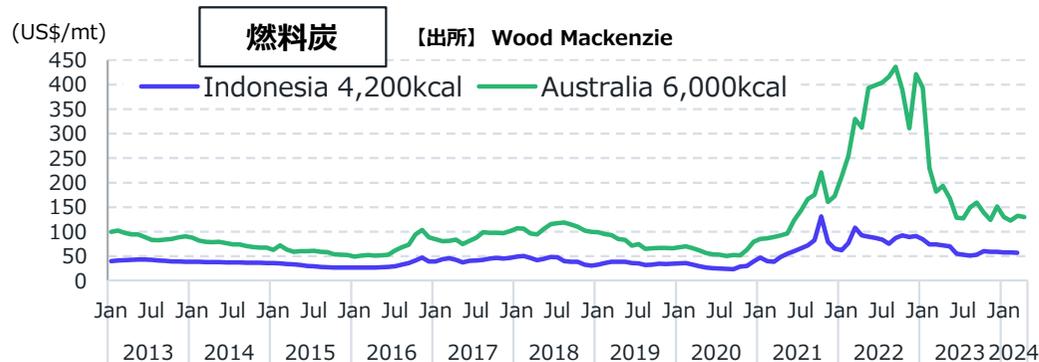


インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



<建設機械・車両> 主要鉱物の価格推移と見通し

- ・主要鉱物の価格は足元での上下はあるものの、長期的に見ると高値の水準を維持。
- ・燃料炭は豪州は水準を維持、インドネシアは緩やかに下落の見通し。
- ・原料炭/鉄鉱石は中国での需要減により、2024年は緩やかに下落の見通し。
- ・銅はEV伸長と将来の需給バランス懸念による価格上下あり。2024年は高位で推移する見通し。

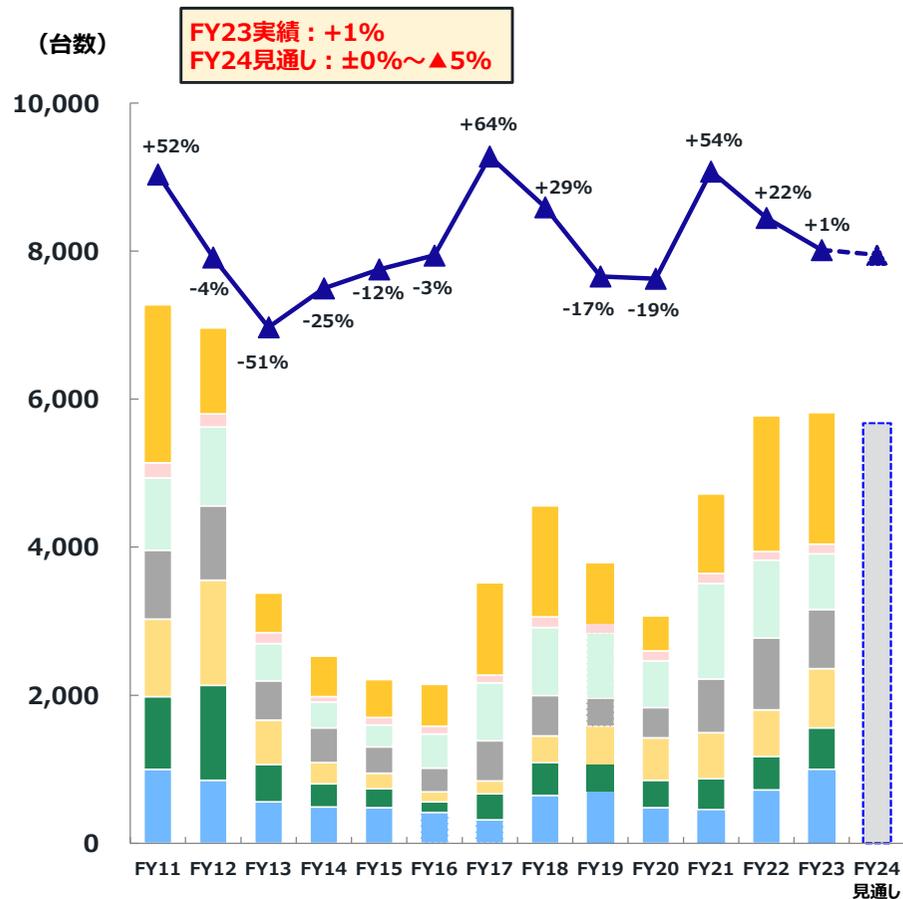


<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2023年度の需要は、前年比+1%の増加。
- ・2024年度の需要は、前年比±0%~▲5%の見通し。

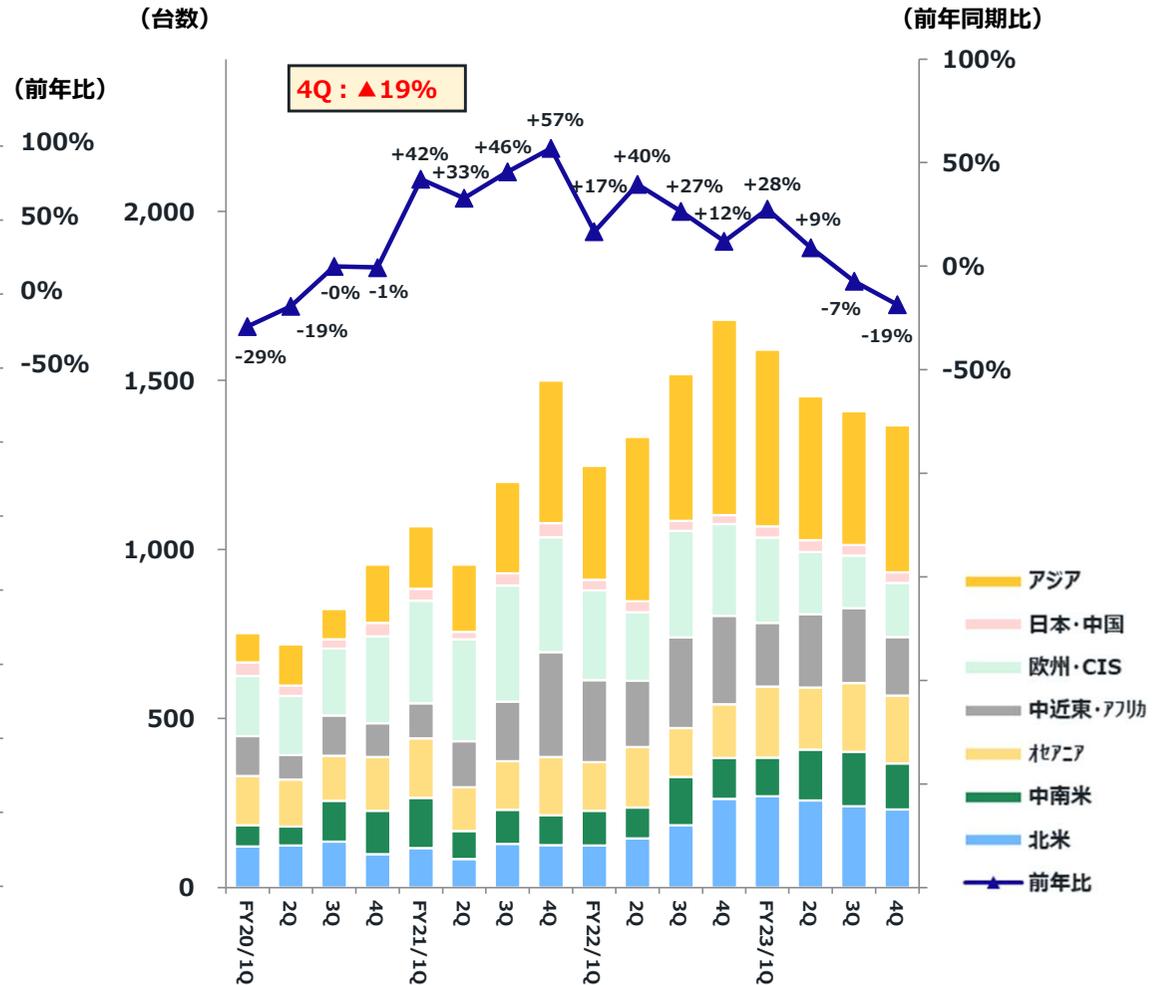
鉱山機械 年度別需要推移

- ・ダンプトラック：75t (HD785) 以上
- ・フルドザー：525HP (D375) 以上
- ・エクスカバター：200t (PC2000) 以上
- ・ホイローダー：810HP (WA800) 以上
- ・モーターグレーダー：280HP (GD825) 以上



【出所】 コマツの推定

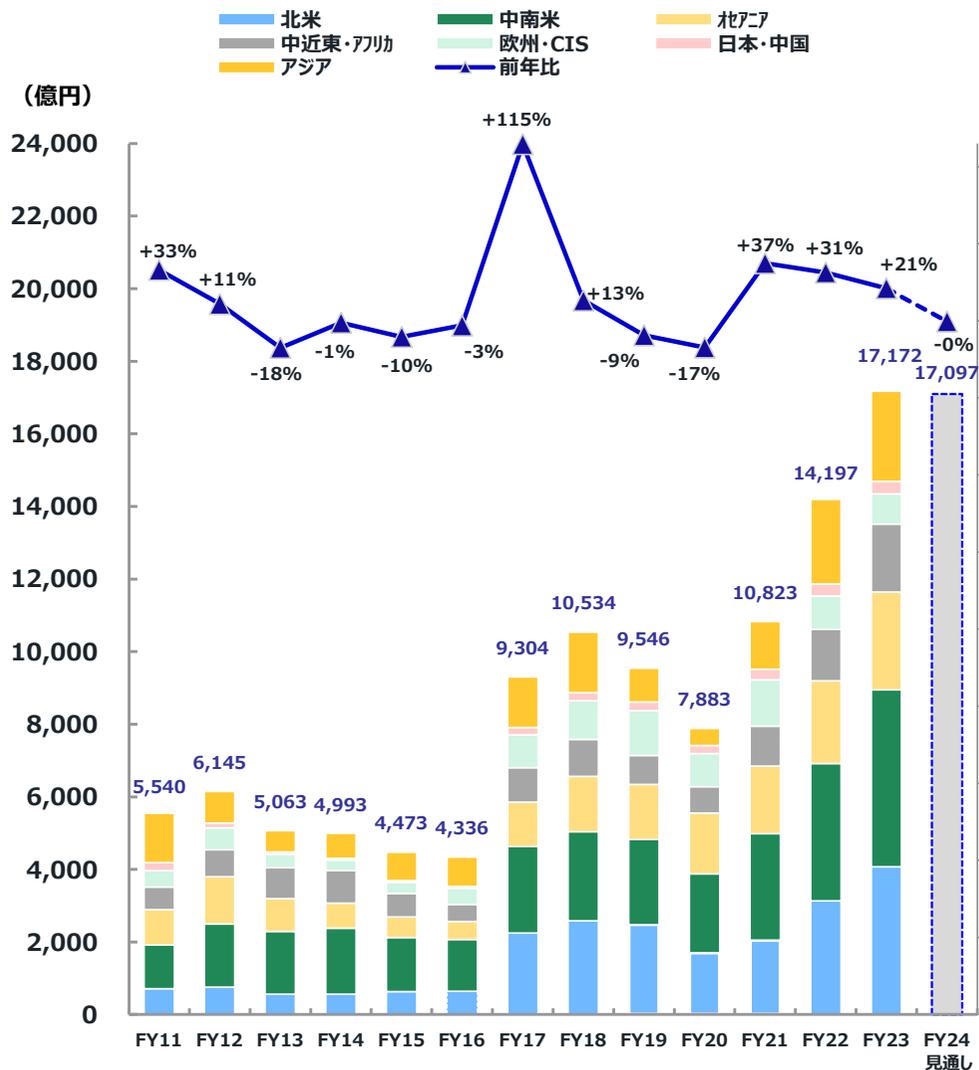
鉱山機械 四半期別需要推移



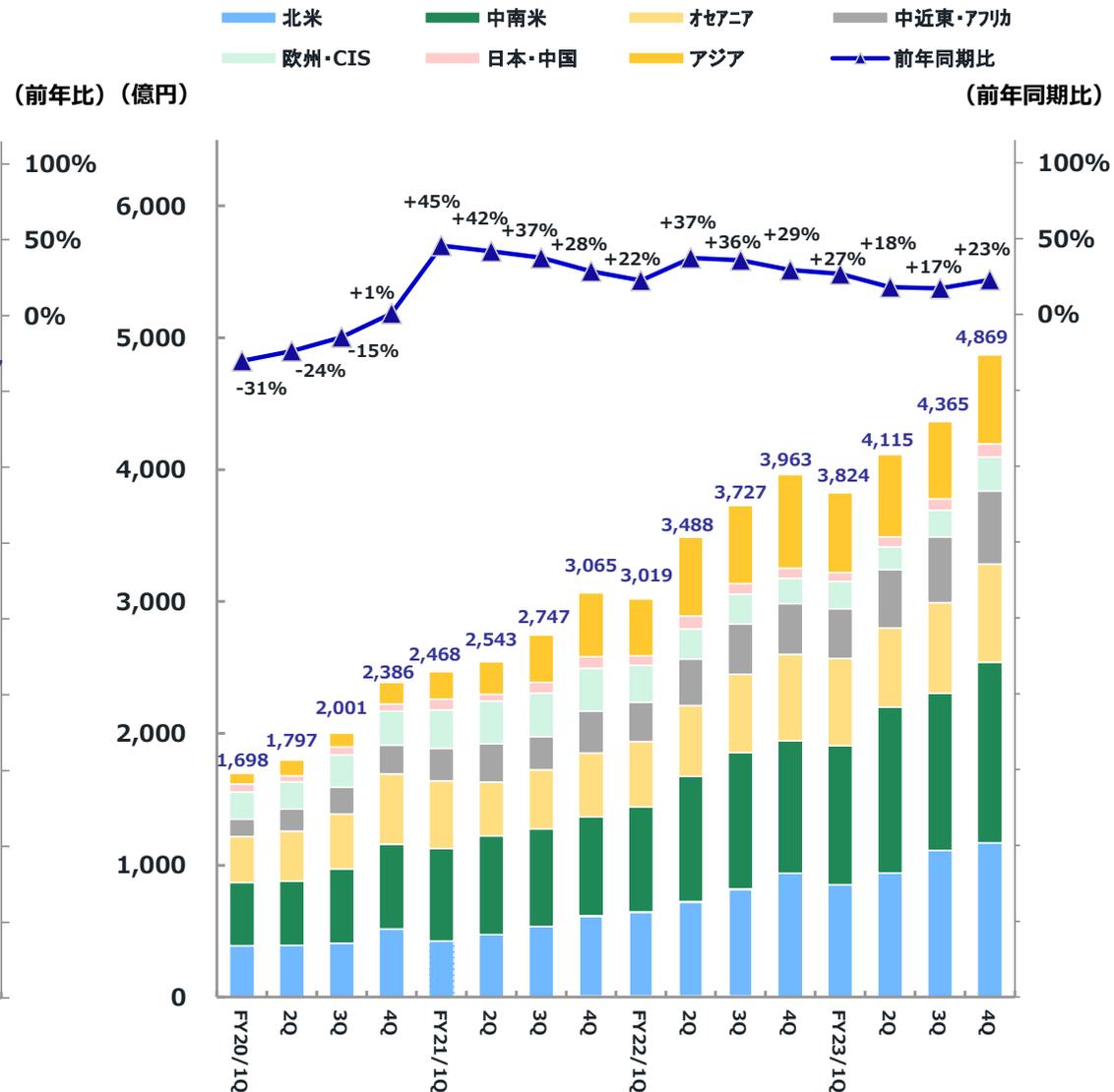
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2023年度の売上高は、前年比+21%増収の1兆7,172億円。
- ・2024年度の売上高は、前年並みの1兆7,097億円の見通し。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



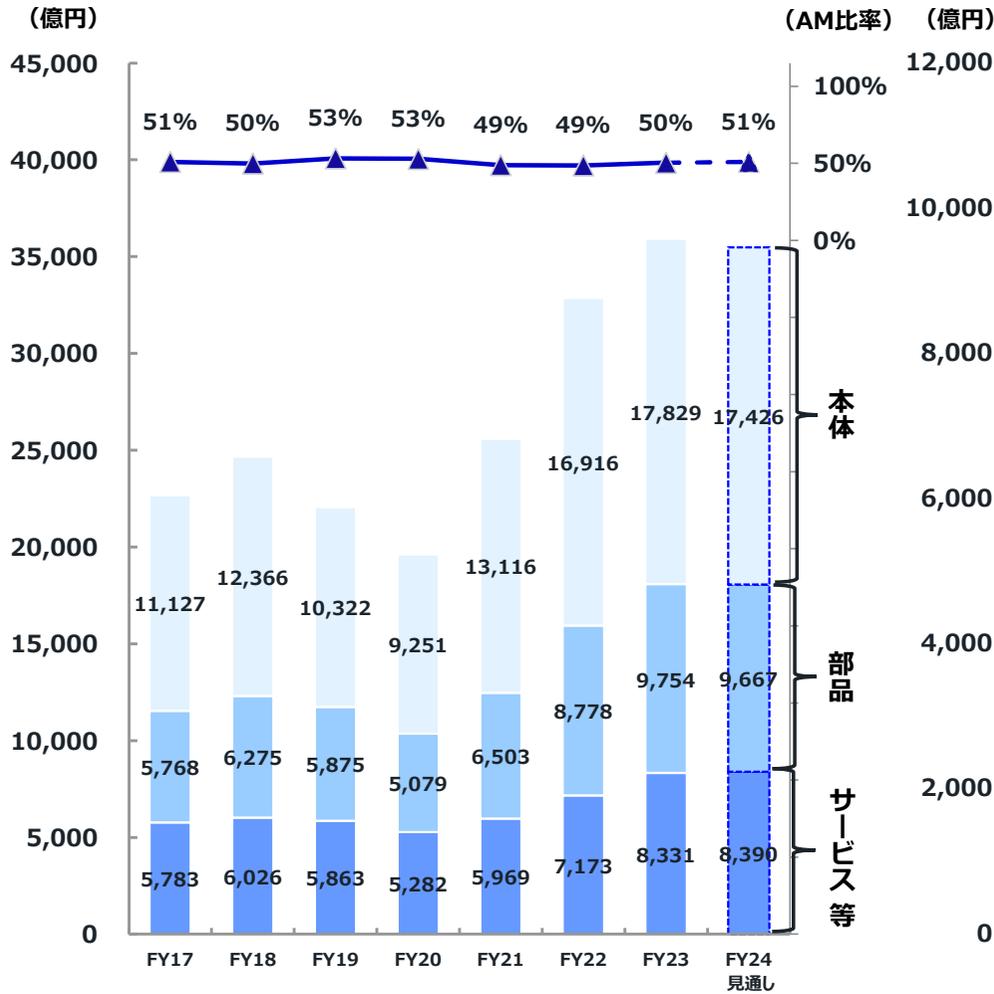
鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



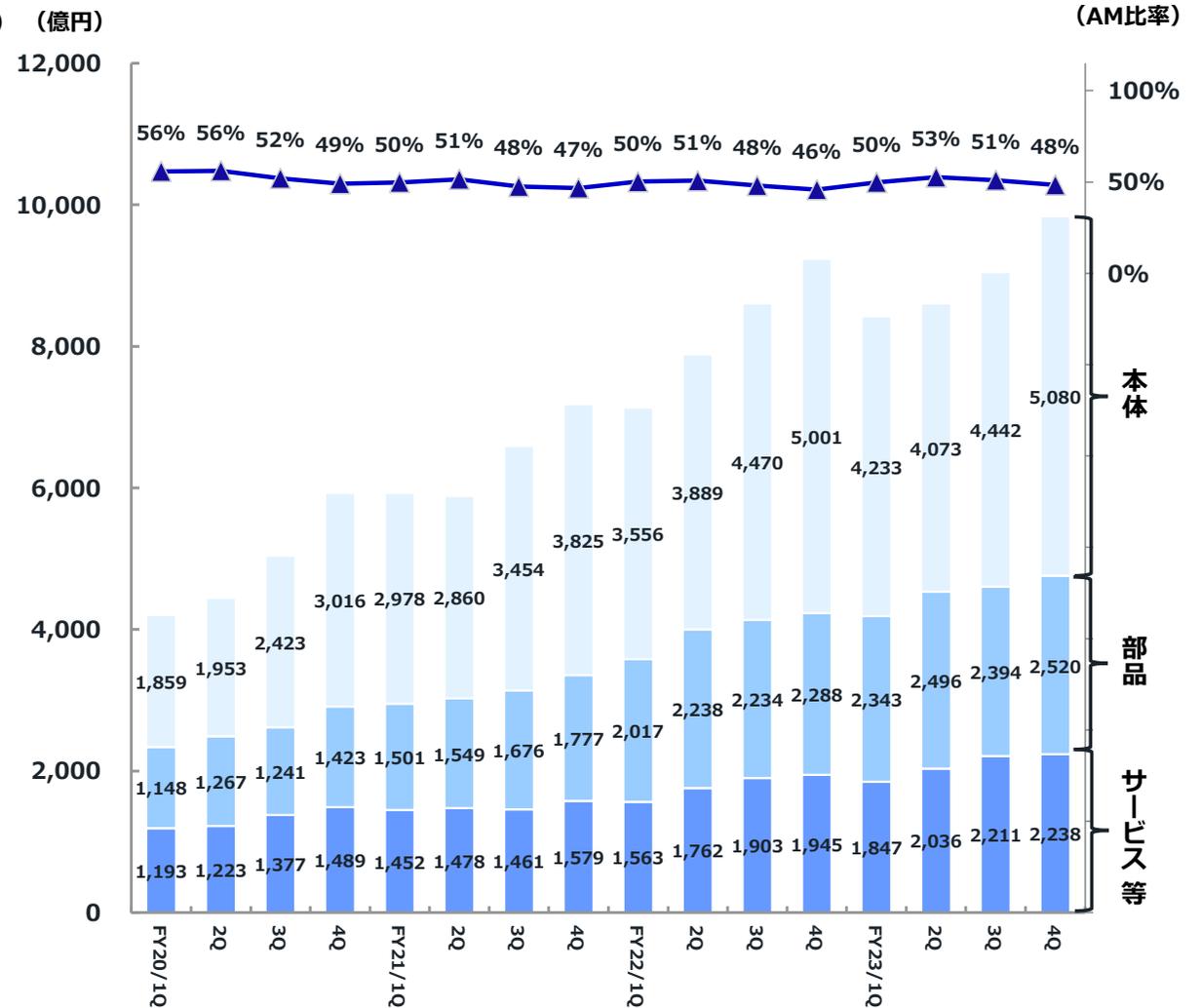
<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2023年度は、部品売上高が前年比+11%増収の9,754億円、サービス等をあわせたアフターマーケット比率は50%。
- ・2024年度は、部品売上高が前年比▲1%減収の9,667億円、サービス等をあわせたアフターマーケット比率は51%の見通し。

年度別売上高



四半期別売上高

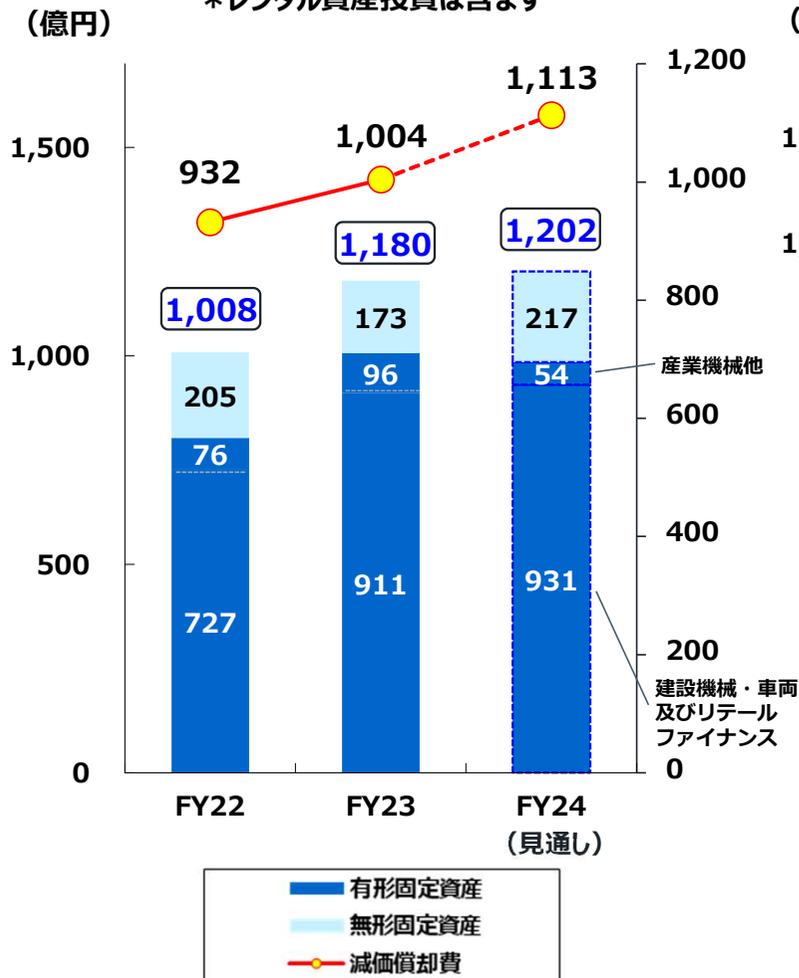


設備投資・減価償却費・研究開発費・固定費の見通し

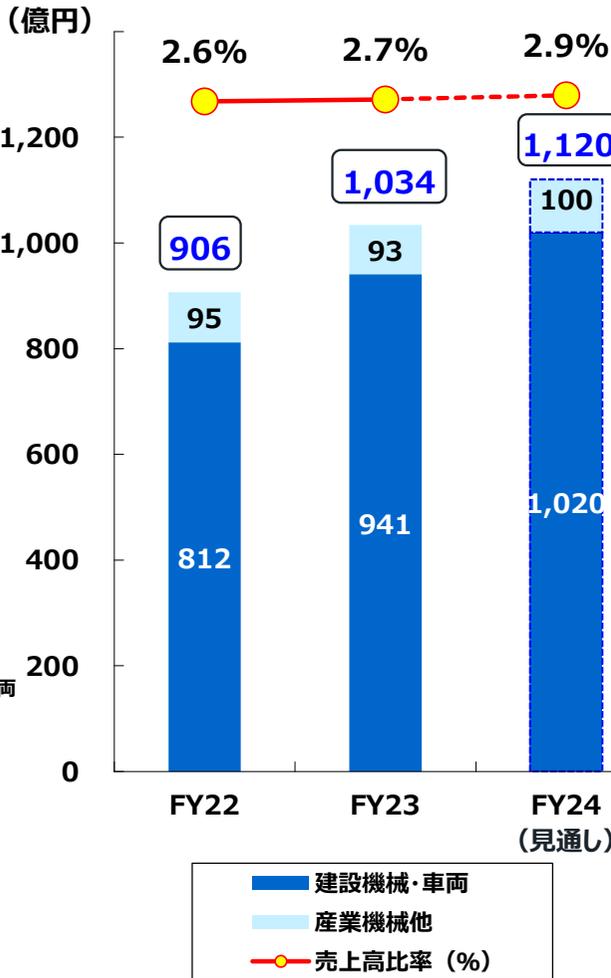
- ・設備投資は、主に生産拠点や販売拠点、ソリューションビジネスへの投資を継続し、前年並みとなる見通し。
- ・研究開発費は、電動化・自動化等への重点投資により、前年比増加の見通し。
- ・固定費は、構造改革の効果を織込むも、人件費・経費に対するインフレ影響や中計プロジェクトへの投資により、前年比増加の見通し。

設備投資* および減価償却費

*レンタル資産投資は含まず

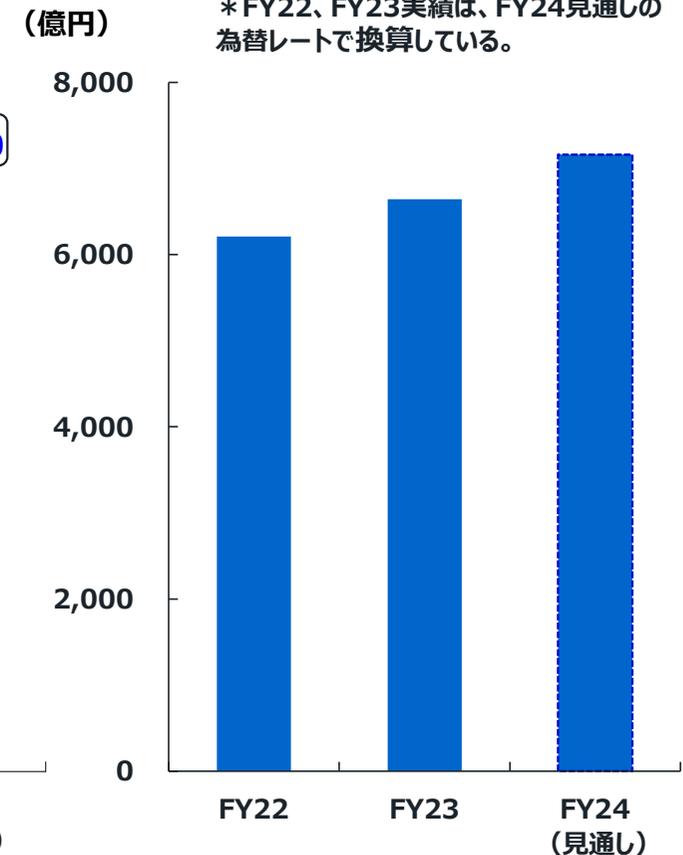


研究開発費



固定費*

*FY22、FY23実績は、FY24見通しの為替レートで換算している。



参考資料

【参考資料】2023年度 第4四半期（1-3月）決算の概況

- ・売上高は、前年同期比+6.6%増収の1兆701億円。
- ・営業利益は、前年同期比+6.7%増益の1,538億円。売上高営業利益率は、+0.1ポイント上昇し14.4%。
- ・純利益は、前年同期比▲5.6%減益の892億円。

金額単位：億円	2023年1-3月 ¥132.4/USD ¥141.2/EUR ¥90.4/AUD	2024年1-3月 ¥146.9/USD ¥159.3/EUR ¥97.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	10,042	10,701	+659	+6.6%
セグメント利益	1,473	1,545	+71	+4.8%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 33	▲ 7	+26	-
営業利益	1,441	1,538	+97	+6.7%
売上高営業利益率	14.3%	14.4%	+0.1ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 75	▲ 84	▲ 9	-
税引前四半期純利益	1,366	1,454	+88	+6.4%
当社株主に帰属する四半期純利益	945	892	▲ 53	▲5.6%

【参考資料】2023年度 第4四半期（1-3月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+6.7%増収の9,894億円。
セグメント利益は、前年同期比+7.5%増益の1,441億円。セグメント利益率は、+0.1ポイント上昇し14.6%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+30.8%増収の289億円。セグメント利益は、前年同期比▲8.0%減益の55億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+0.1%増収の641億円。セグメント利益は、前年同期比▲33.8%減益の46億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

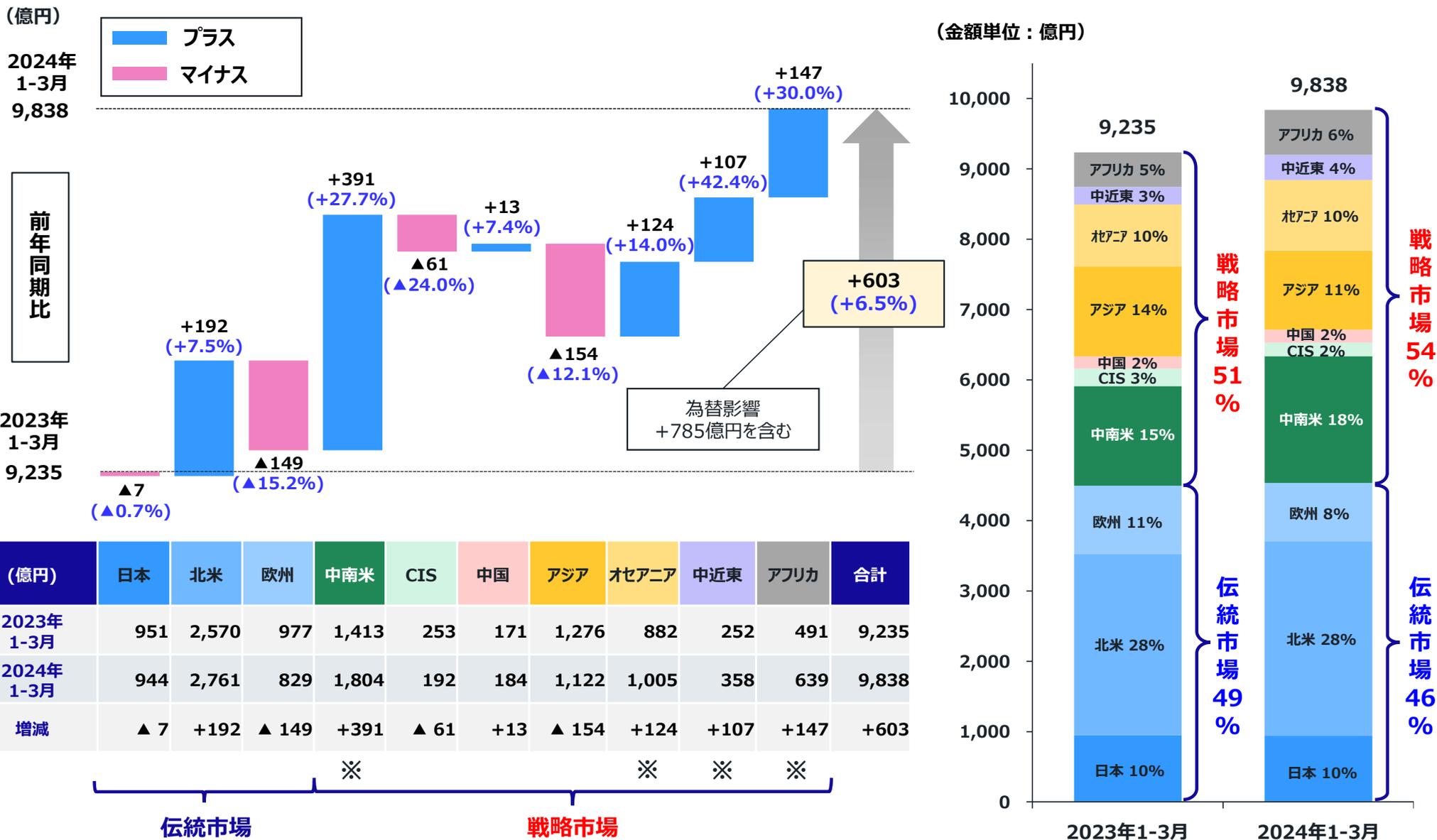
金額単位：億円	2023年1-3月		2024年1-3月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	10,042		10,701		+659		+6.6%	
建設機械・車両	(9,235)	9,269	(9,838)	9,894	(+603)	+625	(+6.5%)	+6.7%
リテールファイナンス	(172)	221	(227)	289	(+55)	+68	(+31.8%)	+30.8%
産業機械他	(635)	641	(636)	641	(+1)	+0	(+0.2%)	+0.1%
消去	▲ 88		▲ 122		▲ 34		-	
セグメント利益	□ 14.7%	1,473	□ 14.4%	1,545	□ ▲0.3ポイント	+71	+4.8%	
建設機械・車両	□ 14.5%	1,341	□ 14.6%	1,441	□ +0.1ポイント	+101	+7.5%	
リテールファイナンス	□ 27.3%	60	□ 19.2%	55	□ ▲8.1ポイント	▲ 5	▲8.0%	
産業機械他	□ 10.8%	69	□ 7.2%	46	□ ▲3.6ポイント	▲ 23	▲33.8%	
消去または全社	3		2		▲ 1		-	

各セグメントの状況：

- **建設機械・車両**
販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- **リテールファイナンス**
金利上昇や為替のプラス影響により増収、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったこと等により減益。
- **産業機械他**
自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、大型プレスの販売増により増収。
半導体産業向けは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したことなどにより減益。

<建設機械・車両> 2023年度 第4四半期（1-3月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+6.5%増収の9,838億円。
- ・北米、中南米、オセアニアなどで増加。欧州、CIS、アジアなどで減少。



【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

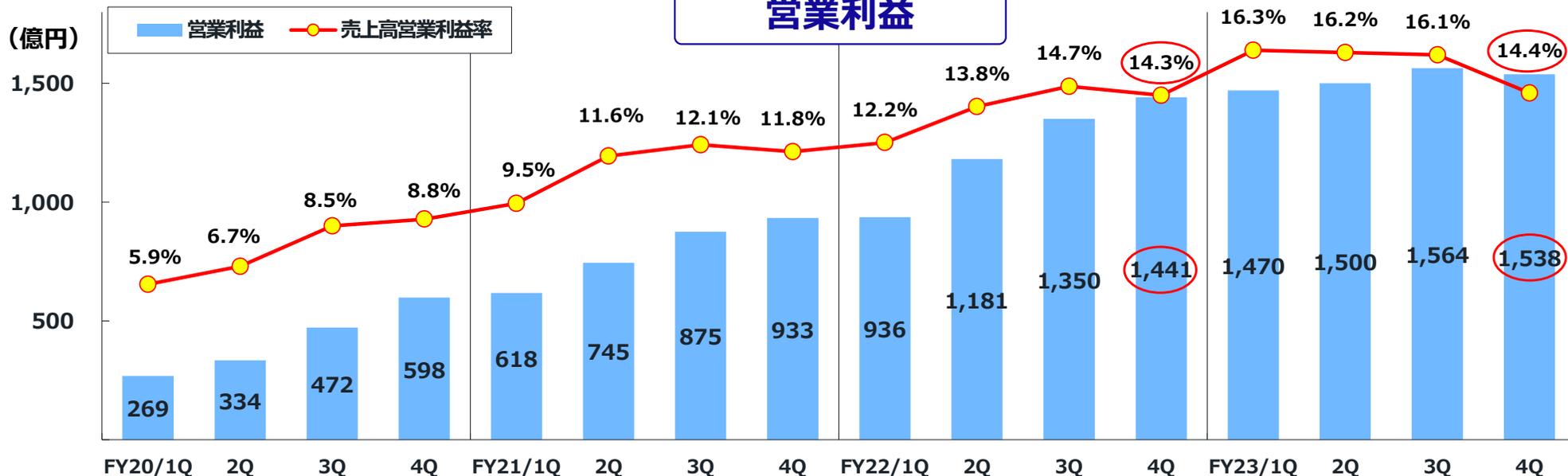
売上高



為替レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0

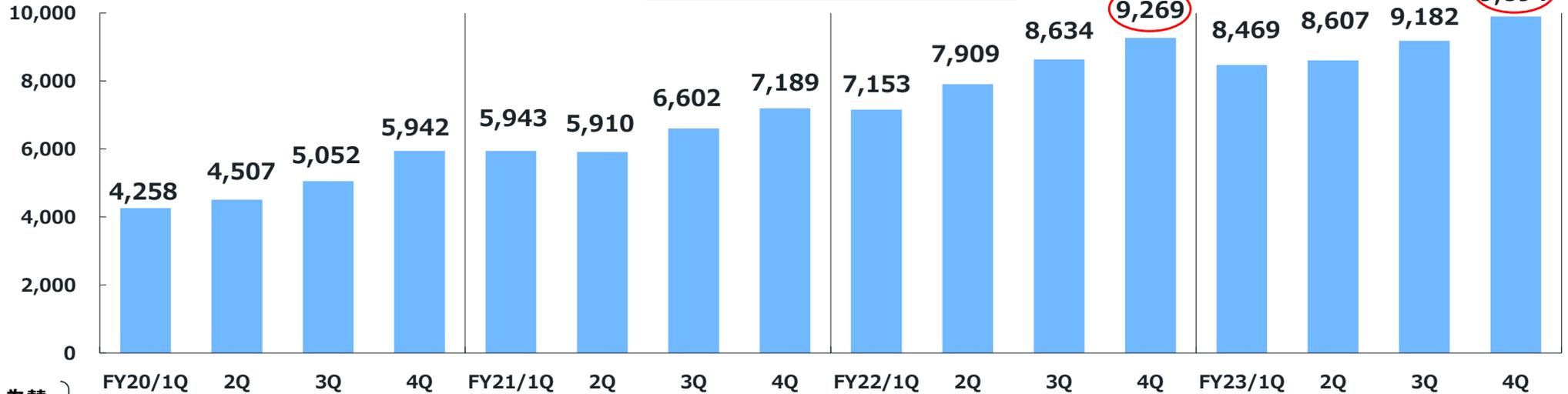
営業利益



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)

売上高

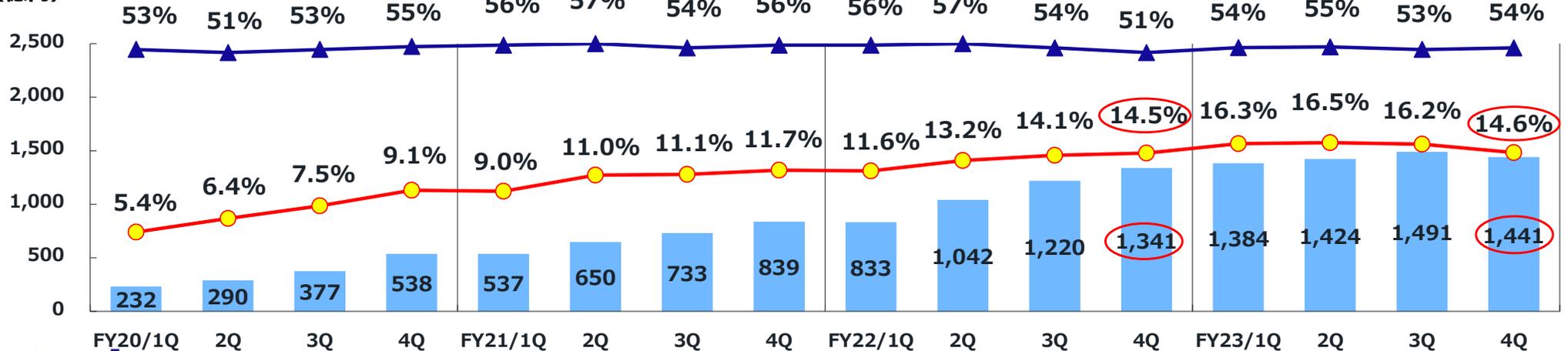


為替
レート

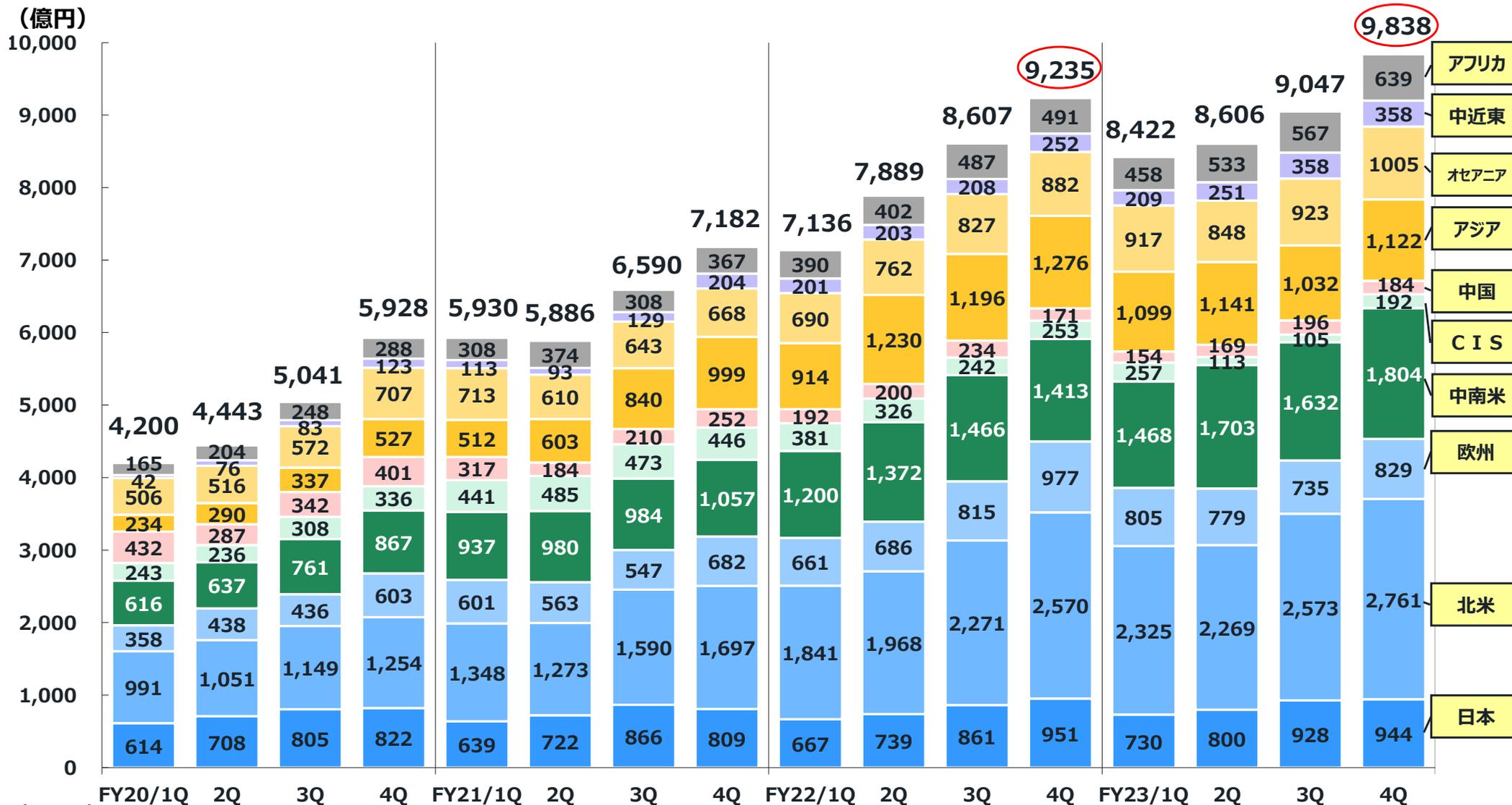
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0

セグメント利益

(億円)



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替レート	FY20				FY21				FY22				FY23			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)



(為替レート)

¥/USD

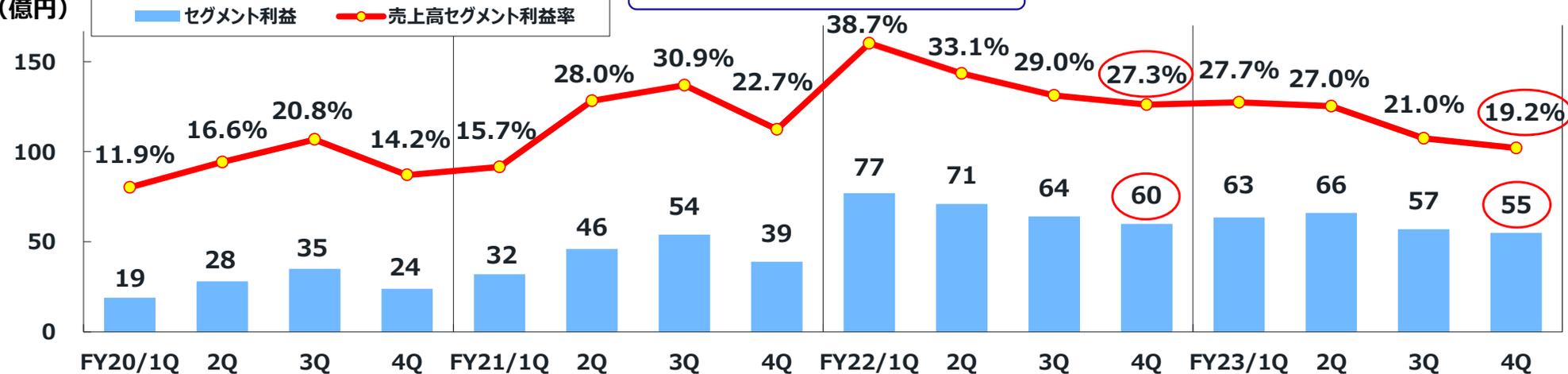
¥/EUR

¥/AUD

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0

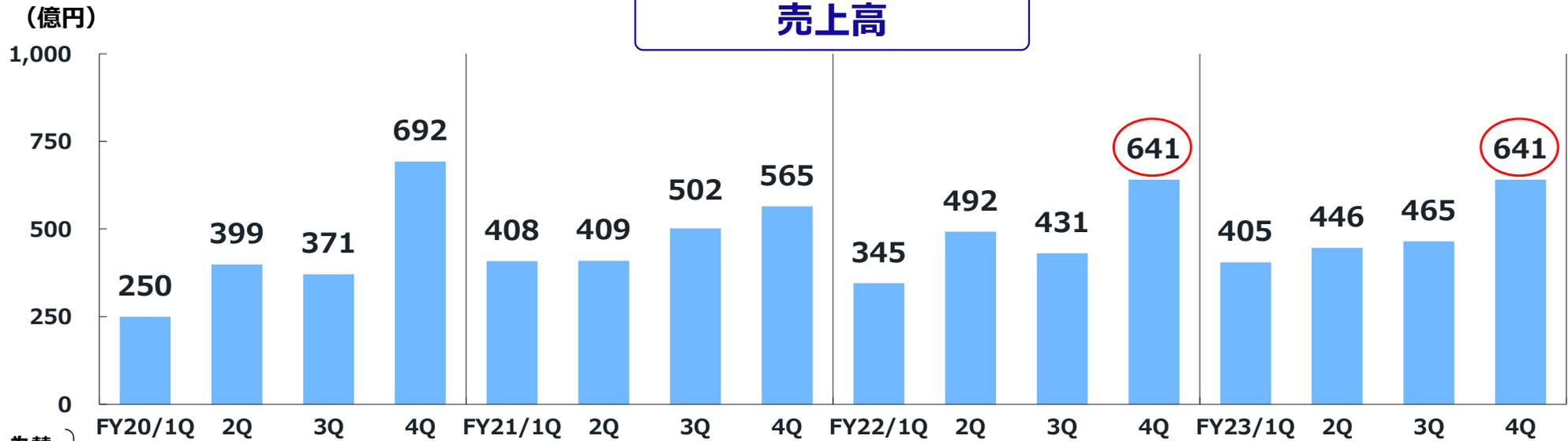
セグメント利益

(億円)



【参考資料】 <産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

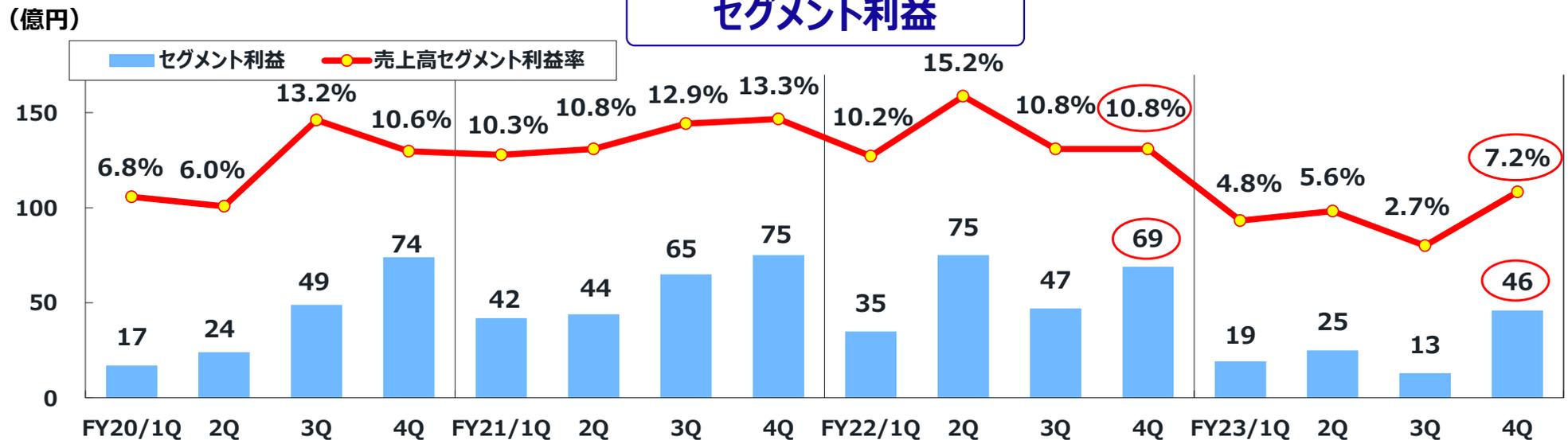
売上高



為替
レート

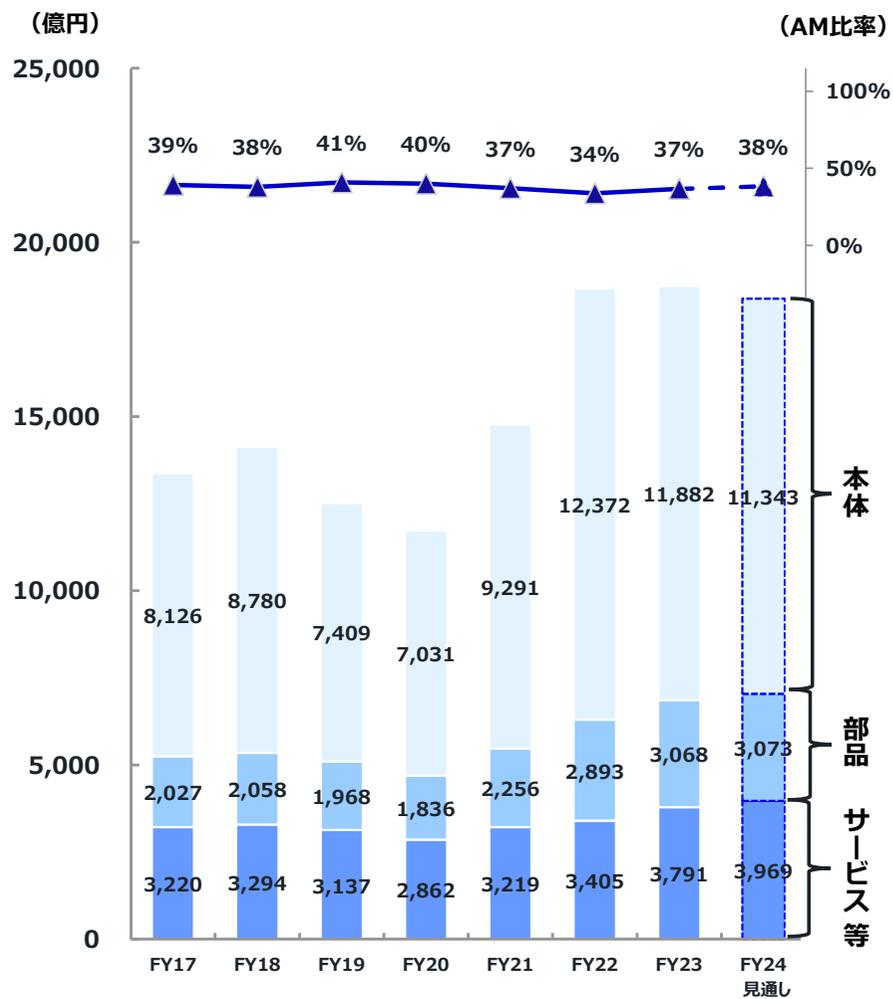
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0

セグメント利益

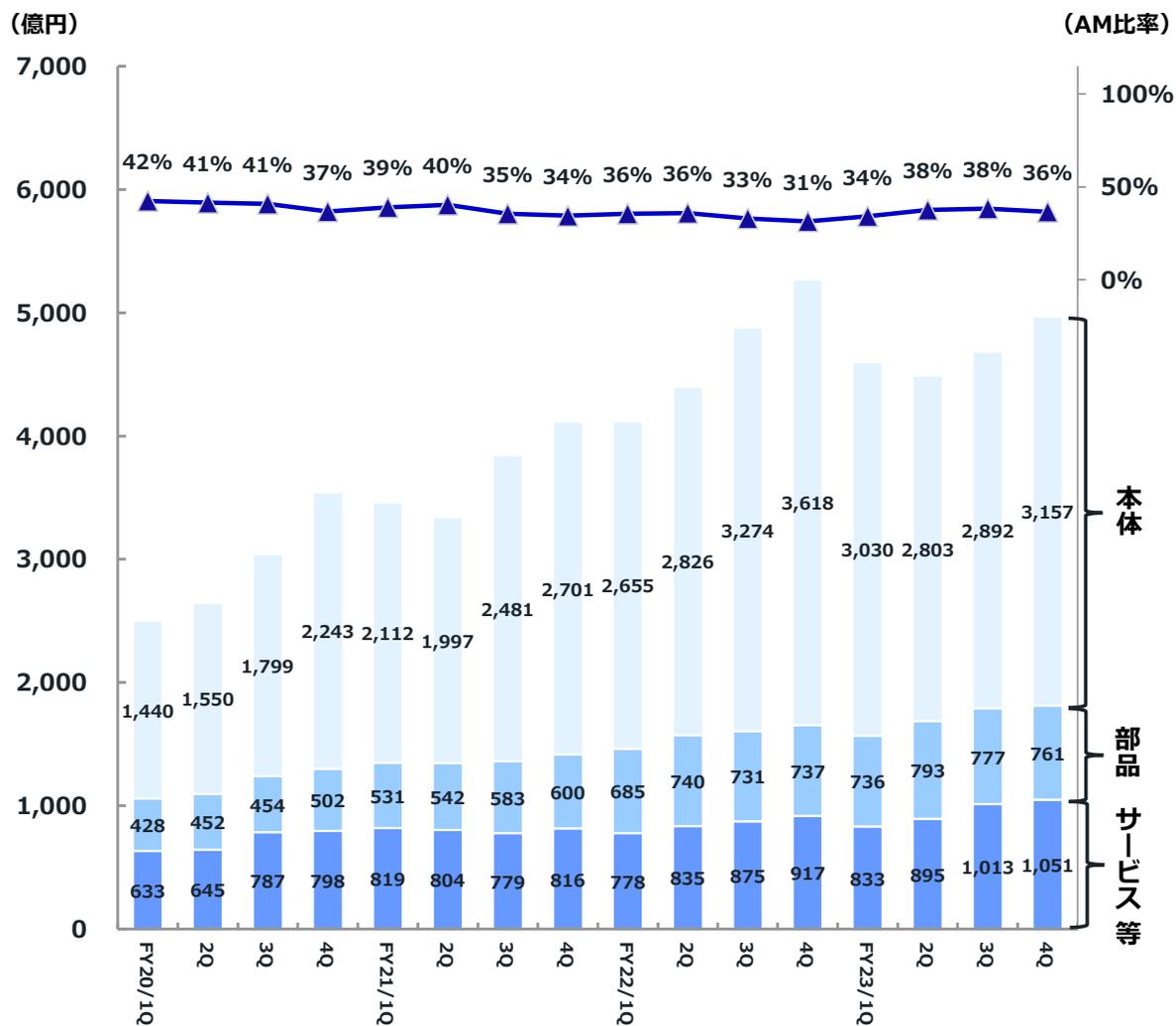


【参考資料】 <一般建機> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

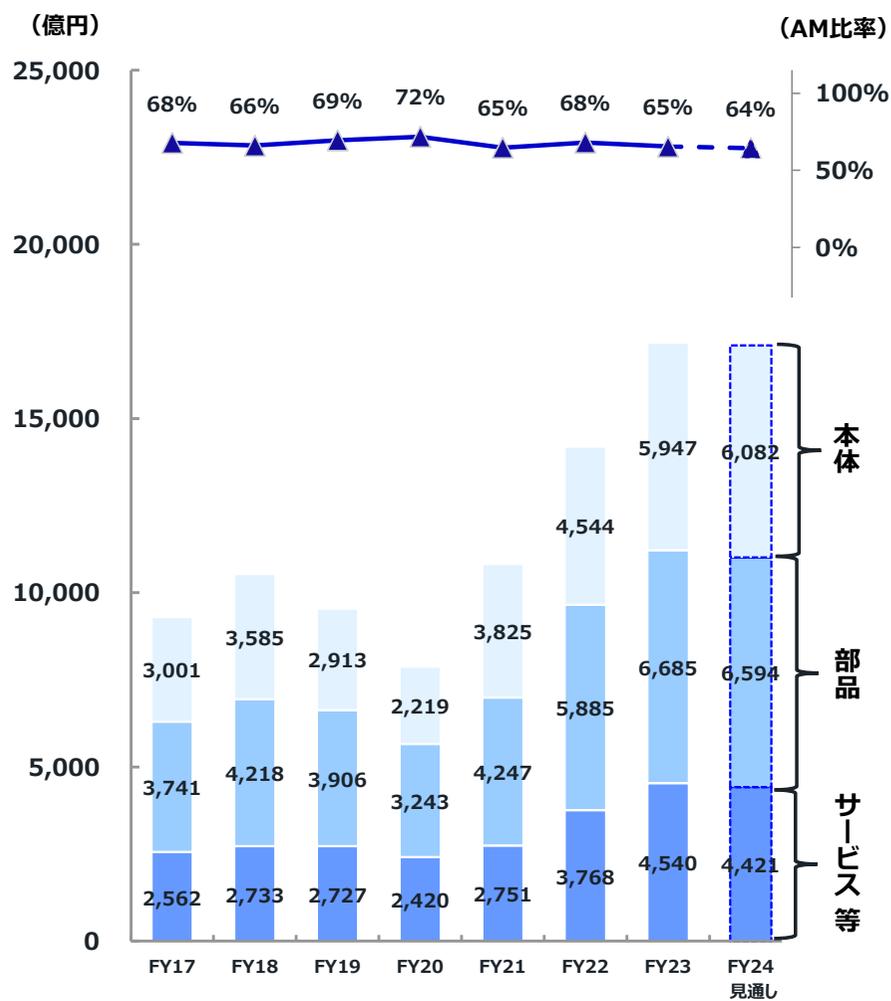


四半期別売上高

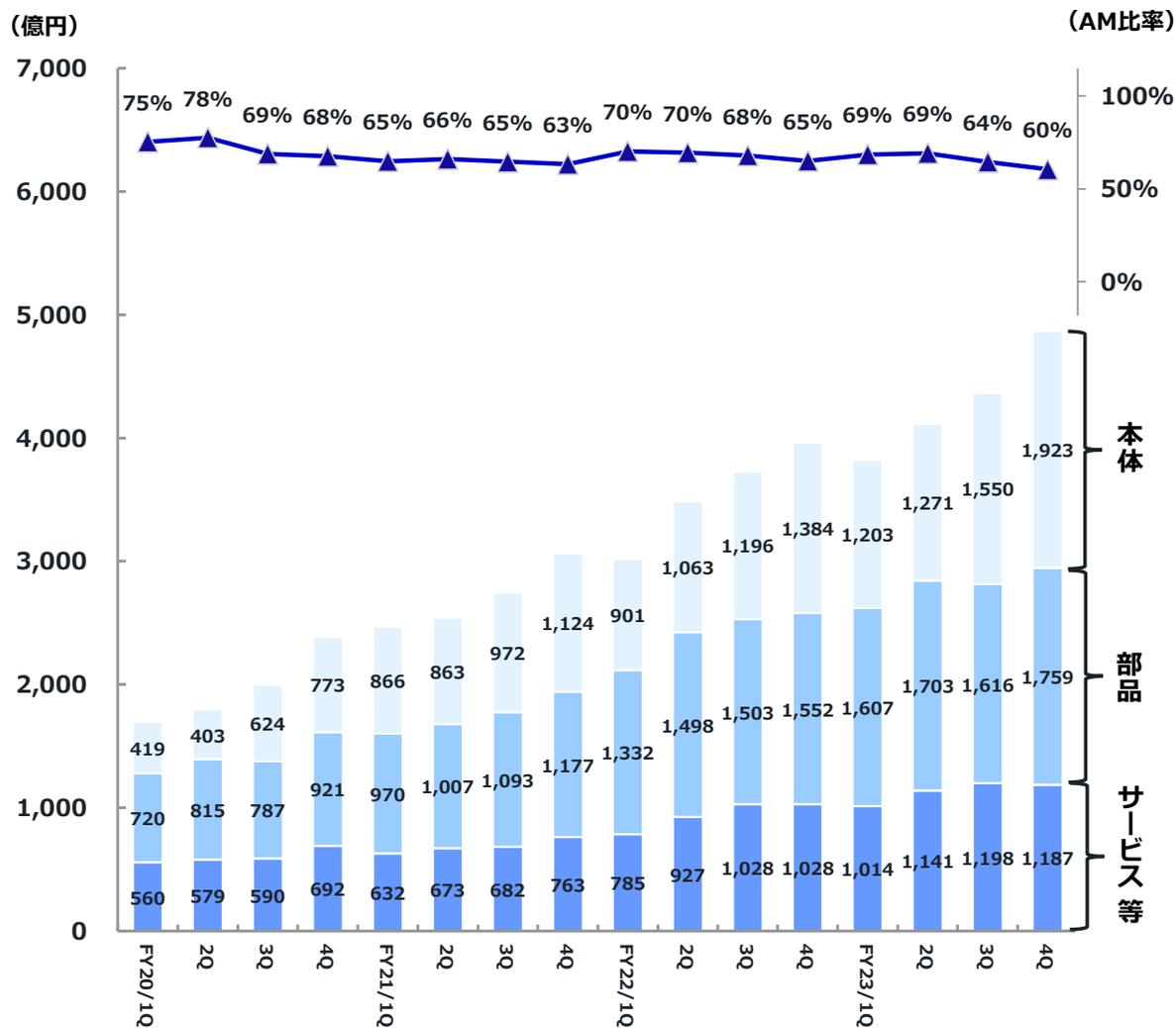


【参考資料】 < 鉱山機械 > 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

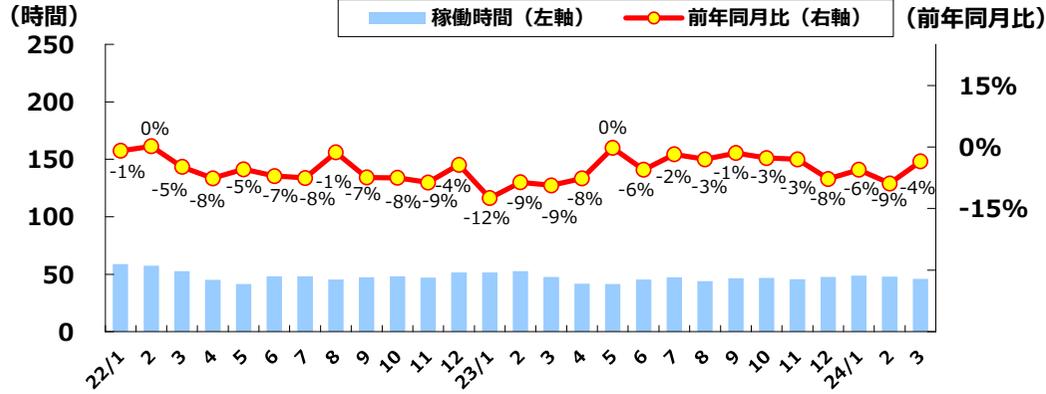


四半期別売上高

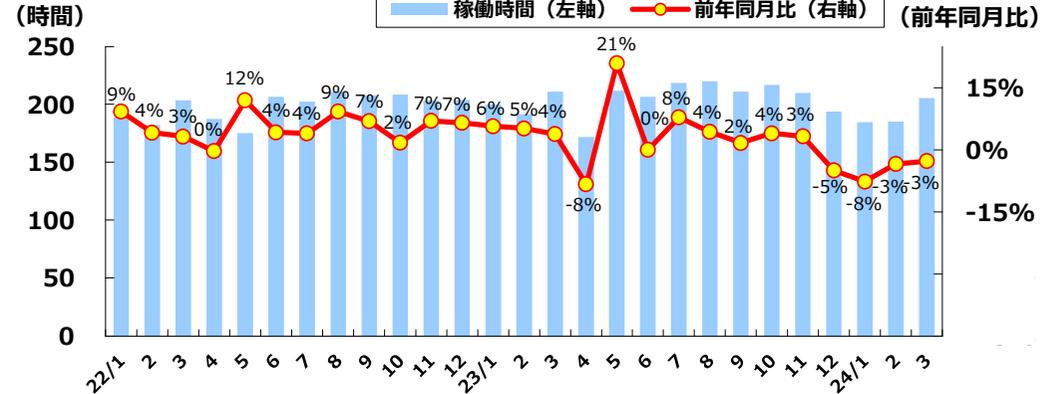


【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

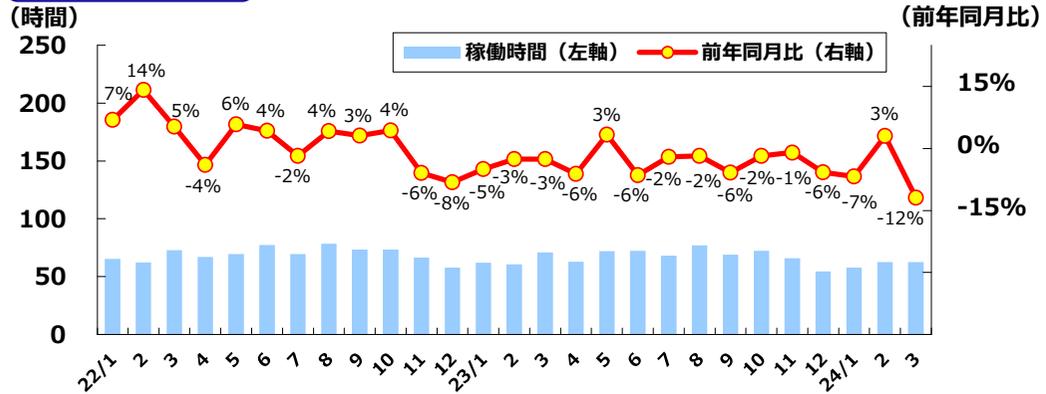
日本



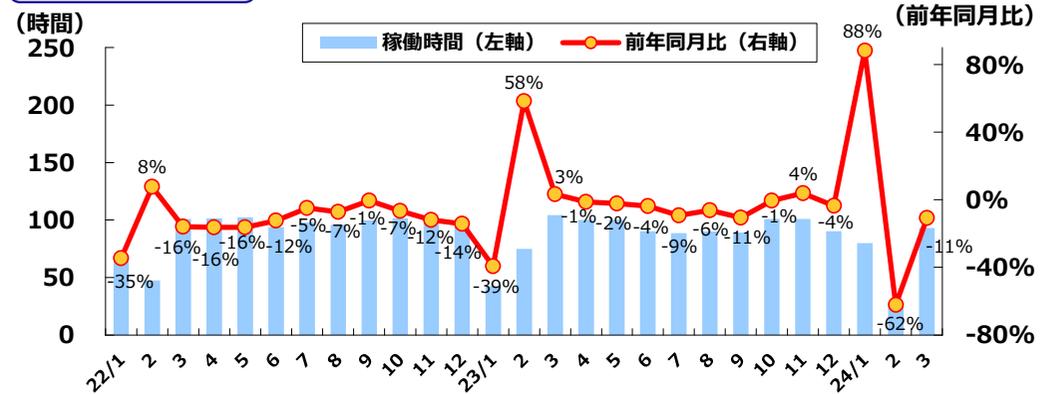
インドネシア



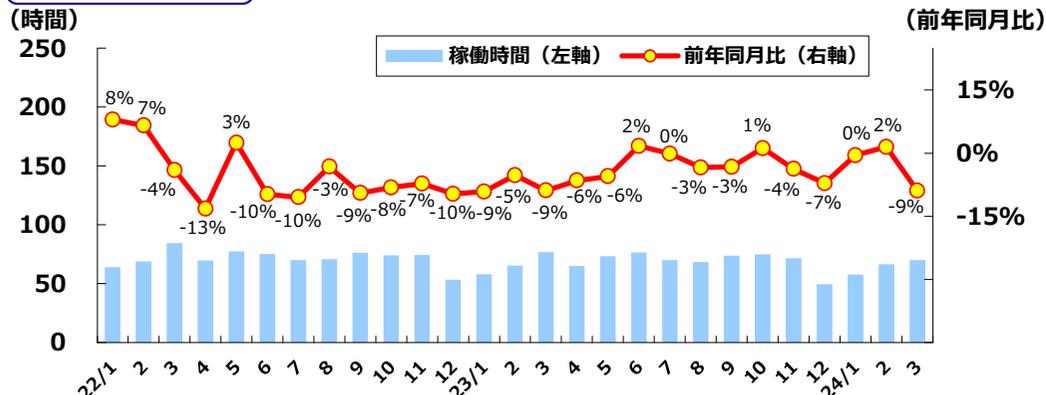
北米



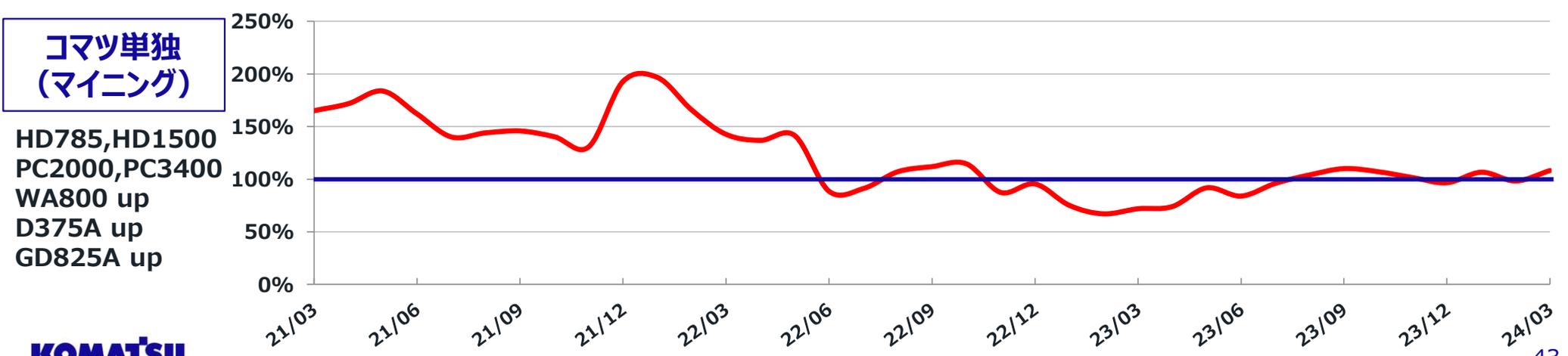
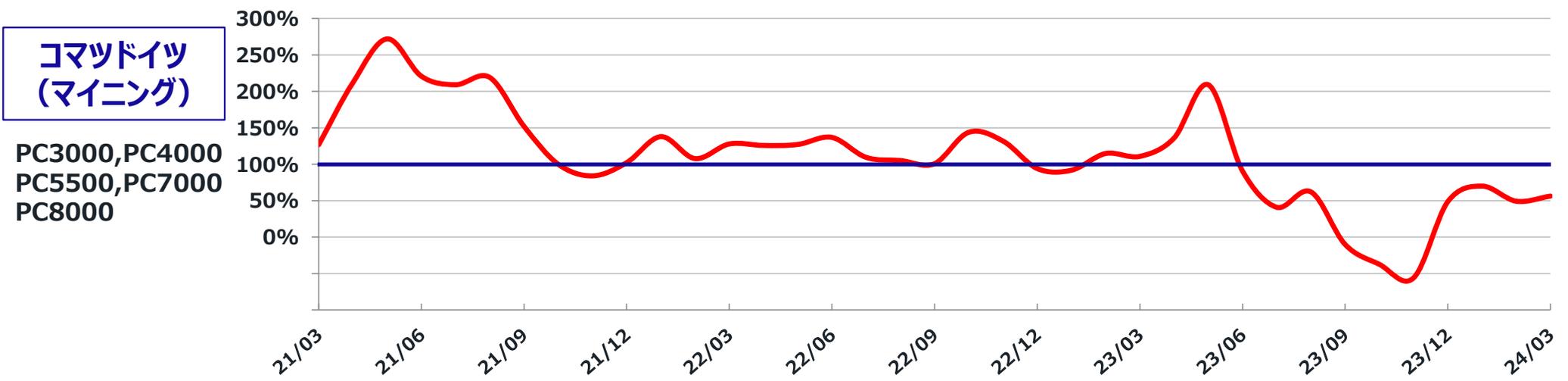
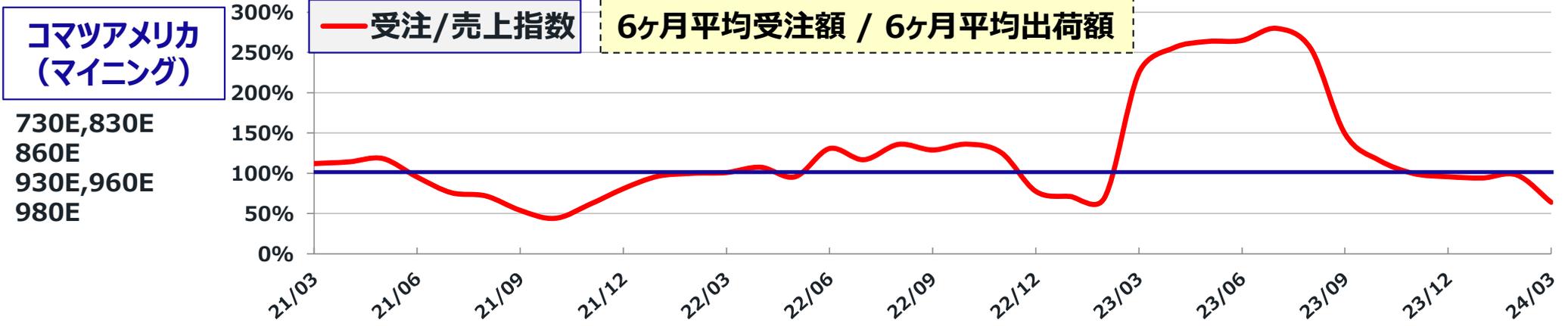
中国



欧州

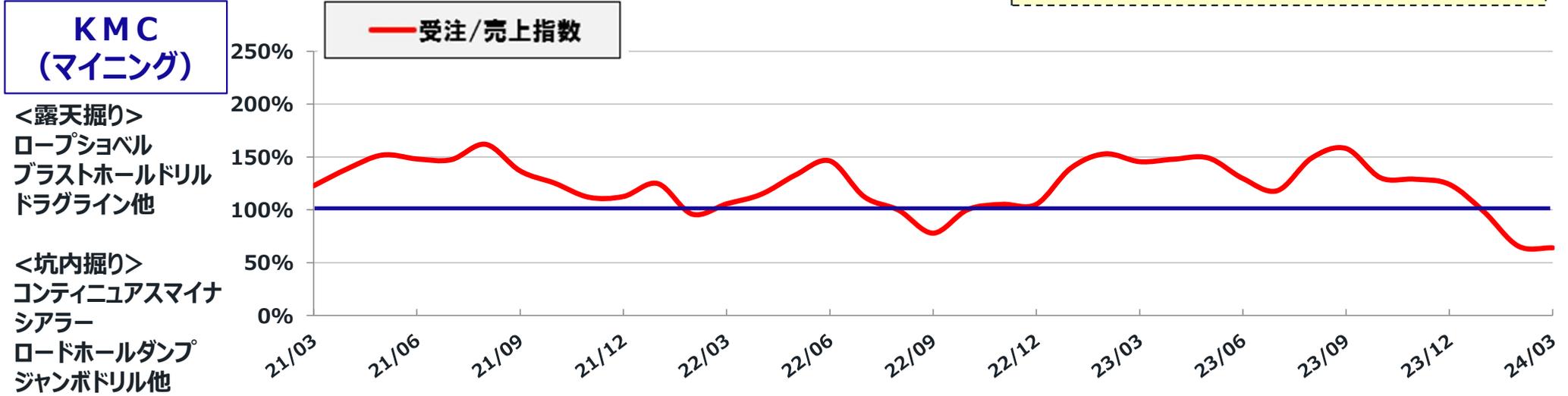


【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

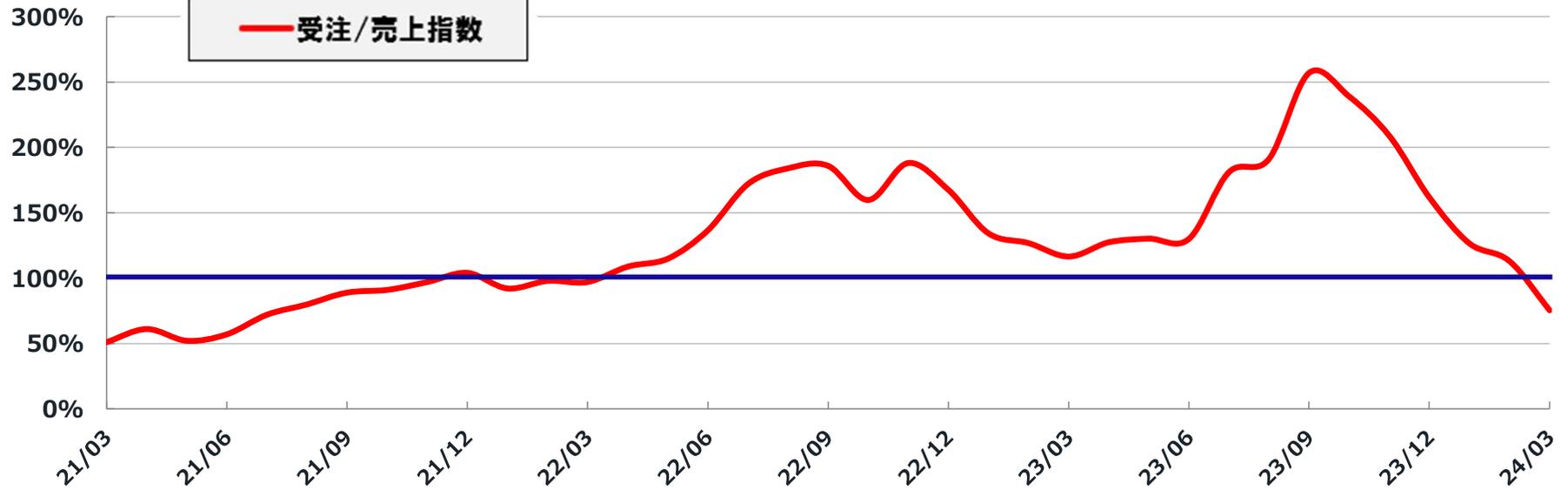
6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



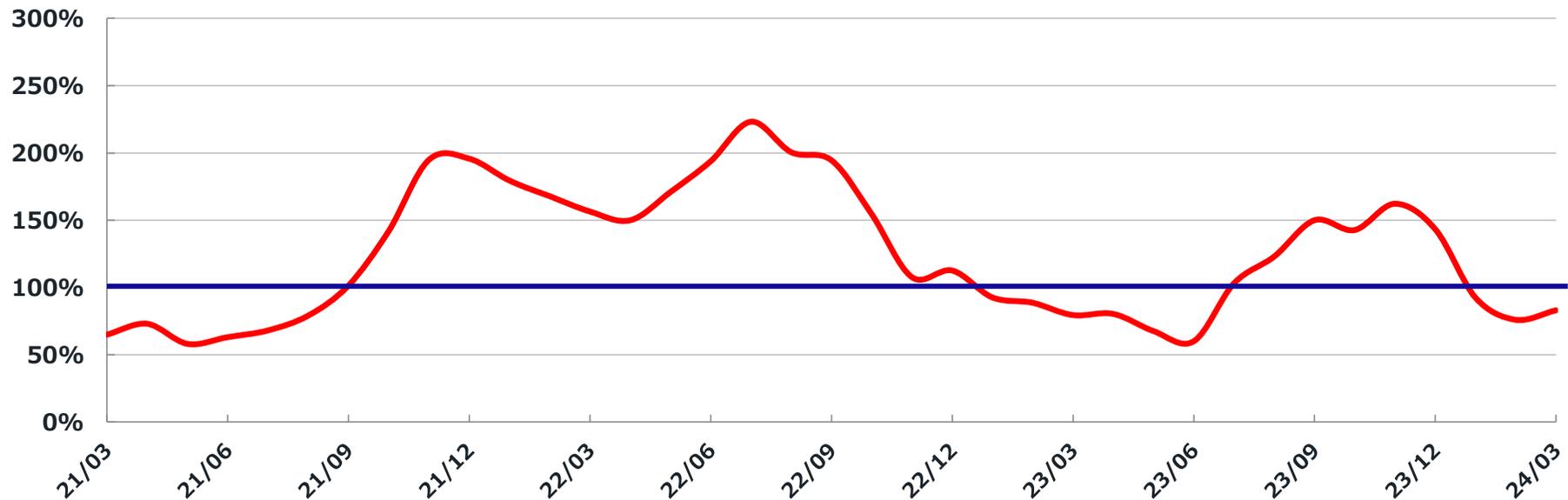
【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC



-モータースポーツ分野での新たな価値創造を目指す- コマツ、F1チーム「ウィリアムズ・レーシング」とのスポンサー契約を締結

- ・コマツは、FIAフォーミュラ・ワン世界選手権の代表的なチームの一つである英国「ウィリアムズ・レーシング」との複数年スポンサー契約を締結しました。
- ・このたびのパートナーシップを通じてサーキットの内外で共に新たな価値を創造し、2024年以降の新たな時代に歴史を刻むことを目指してまいります。

(2024年2月6日 ニュースリリース)



ウィリアムズ・レーシングの2024年型車体デザイン

-自動化・自律化、遠隔操作化の実現を加速-
無人ダンプトラック運行システム（AHS）導入台数700台達成

・コマツの鉱山向け無人ダンプトラック運行システム(AHS: Autonomous Haulage System)は、2024年2月に世界最大級の400トン積載可能ダンプトラック980E-5ATを含む超大型自動運転ダンプトラックの累計導入台数が700台を超えました。

(2024年3月14日 ニュースリリース)



**Glencore社 Lomas Bayas銅鉱山（チリ）へ累計700台目のAHS導入
導入成功を祝うGlencore社とコマツのチーム、稼働するAHSダンプトラック**

-カーボンニュートラル実現に向けた現場の電動化を加速- 電動ミニショベルの給電用可搬式水素混焼発電機のプロトタイプ機を開発

- ・コマツは、電動ミニショベル向けの給電装置として水素混焼エンジンを用いた発電機のプロトタイプ機を、デンヨー株式会社の協力のもと開発しました。
- ・2024年度上期にお客さまの現場にて、給電の実証実験を行う予定です。

(2024年4月23日 ニュースリリース)



水素混焼発電機のプロトタイプ機
(イメージ)

プロトタイプ機を使用した電動ミニショベルの充電
(イメージ)



株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2023>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。